

国立大学法人

岐阜大学概要 2007



GIFU UNIVERSITY
2 0 0 7

CONTENTS

岐阜大学の理念と目標	1
岐阜大学憲章	2
最近の特色ある研究	3
沿 革	4
歴 代 学 長	5
● 組 織	
運 営 組 織	6
教育研究組織	7
役員等一覧	8
役員・職員数	9
学 部	10
大 学 院	11
図 書 館	12
附 属 病 院	13
学内共同教育研究施設等	14
全国共同利用施設	15
● 学 生	
学生数【学部 / 大学院】	16
学生数【専攻科 / 研究生等】、児童・生徒数	17
学生数【外国人留学生】	18
平成 19 年度入学状況	19
卒業者数及び進路状況	20
修了者数及び進路状況	21
学生支援施設	22
● 教育・研究・地域連携	
COE・GP	23
岐阜シンポジウム	24
公開講座・出前講義	25
産官学連携	26
● 国 際 交 流	
学術交流協定締結・研究者交流	28
学 生 交 流	29
● 財 務	
予 算	30
科学研究費補助金等	31
● キャンパス	
建物配置図	32
土地・建物	34
位 置 図	35
所 在 地	36
交 通 案 内	37



学び、究め、 貢献する岐阜大学



岐阜大学長 黒木登志夫

岐阜の地は、飛山濃水と称される豊かな自然に恵まれ、東西文化が接触するという地理的特性を背景として、多様な文化と技術を創造し、伝承してきました。岐阜大学は、この地が培ってきた特性を継承して、「知の伝承と創造」を追究します。このために岐阜大学は、人と情報が集まり知を交流させる場、体系的な知と先進的な知を統合する場、学問的・人間的発展を可能にする場、それらの成果を世界に発信し、人材を社会に送り出す場となることによって、学術・文化の向上と豊かで安全な社会の発展に貢献します。

◎ 学ぶ岐阜大学

岐阜大学は、教育に軸足を置いた教育・研究大学として、深い専門知識、広い視野と総合的な判断力を備えた人材の育成を目指します。このために、多様な生き生きとした教育を行うとともに、豊かな人間性と学識を養い、判断力、企画・構想力、行動力に富む人材の育成を目指します。このことにより地域社会と人類の持続的発展に貢献します。

◎ 究める岐阜大学

岐阜大学は、独創的、先進的研究の拠点として知の創造と統合に努め、人類と社会の幸福と発展に貢献します。また、研究の成果は教育の場を通して社会に還元します。このため、科学技術、教育、地域課題などについて独創的、先進的な研究を行い、その成果を絶えず社会に発信し、問いかけていきます。このことを通して社会のリーダーとしての役割を担います。

◎ 貢献する岐阜大学

岐阜大学は、独創的、先進的な研究とそれに裏打ちされた人材教育により、中部地方に拠点を置いた中規模総合大学として、地域社会・国際社会からの信頼と期待に応えていきます。国際化時代に積極的に対応するために、本学の教育と研究の特性を生かした国際交流と留学生教育など、大学の国際化を積極的に推進します。



学章デザイン 元岐阜大学教授 坂井範一

1. 岐阜大学の学章は鵜舟と篝火を意味する。
篝火は学問を舟は人類の幸福を意味するであろう。
1. 陰陽二体の組合せは天地自然を意味する。
総ての存在と活動調和とバランスを意味するであろう。
1. 黒とオレンジ色の組合せは情熱を意味する。
また感性の豊かさと品位を意味するであろう。
1. 単純化された形は現代の清潔感と活動性を意味する。
それはまた時代の速度と知性を意味するであろう。

● 学生憲章：「岐阜大学は学生に何を期待しているか」

学生の皆さん。岐阜大学で学ぶ数年間は、皆さんの人生において最も輝いている、それ故に最も大事な時間なのです。岐阜大学における学生生活は、将来の生き方を決める上で決定的に重要です。学問の基礎と高度な専門知識を学ぶと同時に、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を磨いてください。大学の教職員は皆さんの期待に添うよう最善を尽くします。皆さんも努力してください。

1. 本をたくさん読み、学んでいく上での土壌を作ろう。
2. 文学と芸術を愛し、人間と自然への理解を深めよう。
3. 専門職業人として、高度な専門知識を身につけよう。
4. 自分の考えを論理的な文章にまとめ、発表できるようにしよう。
5. 国際語である英語をマスターし、十分に意思疎通できる実力をつけよう。
6. IT技術により、正しい情報の受信と発信ができるようにしよう。
7. 長い人生を生きるための体力をつけ、健康を守ろう。

● 教員憲章：「岐阜大学の教員は何をすべきか」

岐阜大学は、「教育に軸足を置いた教育・研究大学」を理念としている。学生憲章にしたがい学生を教育し、優れた人材を社会に送り出すことが大学に課せられた最大の使命である。質の高い教育には、学問に対する情熱と質の高い研究の裏付けを必要とする。教員は独創的研究を進め、世界トップレベルの研究を目指す。教員は、教育者、研究者としての高度な倫理観が求められていることを常に意識しなければならない。

1. 教育に軸足を置いた教育・研究大学として、学生憲章に示す教育を実践する。
2. 広い視野、深い専門知識、総合的な判断力と行動力をもった人材を育成する。
3. 研究に取り組む姿、日常生活、それらのすべてが学生に対する教育である。
4. 教育者、研究者としての倫理を常に自覚し、行動する。
5. 目標を高くもち、世界トップレベルの研究を目指す。
6. 長期的視点と広い視野で、独創的な研究を進める。
7. それぞれの専門分野を通して、社会貢献に努める。

● 社会貢献憲章：「岐阜大学はどのように社会の要請と期待に応えるか」

法人化以前の大学は、『象牙の塔』という言葉に象徴されるように、社会から切り離された一段と高い存在のように思われていた。しかし、法人化後、大学はあらゆる面で社会から期待される存在になった。これを受けて、大学は積極的に社会に貢献しようと努めている。岐阜大学は、中部地域に立脚した国立の地方総合大学として、教育、研究、産業、医療、文化など、広く地域社会の要請と期待に応えられるよう努めなければならない。国際的にも、教育、研究面で貢献することが求められている。

1. 優れた人材の育成が、大学に期待されている最大の社会貢献である。
2. 地方総合大学の重要な役割は、地域社会との連携、協働である。
3. 産官学間の連携により、地域産業の振興に貢献する。
4. 地域住民、行政機関との協力により、地域の行政、経済、教育、文化の発展に貢献する。
5. 附属病院は高度先進医療センターとして地域の医療に貢献する。
6. 先進国、途上国と協力して国際的な社会問題の解決に貢献する。
7. 海外の大学との連携および留学生教育を通して、国際社会に貢献する。

● 大学運営憲章：「期待に応える大学であるために何をすべきか」

教育、研究、社会貢献など大学に対する社会からの期待は大きい。中期目標、中期計画を策定し、それを確実に実行することが、社会の期待に応えるための基本となる。大学という、普通の社会一般の組織とは少なからず異なる独自の組織形態と価値観をもつ組織を、本来の目的に向かって進めるためには、学長のリーダーシップのもとに、役員と教職員が問題意識を共有し、大学運営に当たることが重要である。特に、戦略性を重視し、個性ある大学像を築くことが必須条件である。国立大学法人をめぐる厳しい財政状況下で、大学の活性を保ち、本来の任務である教育、研究、社会貢献を進めるためには、経営と管理運営に戦略性が必要である。

1. 中期目標、中期計画を確実に実行する。
2. 戦略性を重視し、明確な方針と学長のリーダーシップのもとに大学運営にあたる。
3. 環境問題を重視した運営を行い、教育、研究、社会貢献に反映させる。
4. 厳しい財政状況を乗り越えるため、明確な経営戦略のもとに運営する。
5. 外部資金の獲得に努め、財政基盤を強化する。
6. 情報の透明性と公開性を重視し、効率的かつ合理的な運営を行う。
7. 教職員に優れた人材を採用し、その育成に努める。

本学は、学際領域のプロジェクト研究を戦略的に行うために設置した「プロジェクト研究推進室」での検討を経て、次の4つのプロジェクト研究センターを設置し、特色ある研究を推進している。

● 人獣感染防御研究センター

(平成 16 年 9 月設置)

本センターは、新興・再興感染症等に対する論理的創薬体制(立体構造決定、創薬計算、有機合成、バイオアッセイ)を構築し、主に人獣共通感染症をターゲットとする治療薬の開発研究を推進するとともに、家畜や野生動物に起因する感染症に対する防御対策の研究開発を目的に設置した。

また、文部科学省の「新興・再興感染症研究ネットワーク」の参画機関として、新興・再興感染症研究拠点形成プログラム・人獣共通感染症研究クラスターの一翼を担い、特にプリオン病とウイルス感染症の予防・治療薬の開発を担当している。

研究部門					
プリオン研究部門	ウイルス研究部門	創薬・分子設計 (有機合成)部門	動物病態部門	野生動物感染症 研究部門	計
15	2	5	1	1	24 人

● 先端創薬研究センター

(平成 17 年 10 月設置)

本センターは、天然資源・生体分子の高次利用による生命機能探索分子、疾病診断法、健康食品、医薬品などの研究開発の推進とそれらの技術移転による地域経済の再生を目的に、岐阜薬科大学との連携のもとに設置した。

また、平成 17～18 年度に採択された経済産業省の地域新生コンソーシアム研究開発事業についても、両大学が連携・推進し、地域の活性化に貢献した。

将来的にはさらに諸機関とも連携して「先端創薬推進機構」に発展させ、創薬科学の全国的・国際的拠点化を目指している。

研究開発部					
高次生命機能 探索分子創製	高機能性 天然資源探索	生体応答解析	バイオ インフォマティクス	治 験	計
7	4	・免疫・アレルギー 4 ・生活習慣病 4 ・認知症 4 ・感染症 4	3	治験 ・医学部附属病院 ・生命科学総合研究支援センター 薬物動態 1	31 人

● 金型創成技術研究センター

(平成 18 年 7 月設置)

本センターは、文部科学省の平成 18 年度科学技術振興調整費の採択を受け設置したもので、地域(岐阜県、大垣市、金型産業界)と連携し、次世代の金型産業を担う高度職業人の養成を目的としている。本学教員のほか、地元企業から講師として技術者を招き、金型技術の高度化・伝承を継続的かつ着実に実行するとともに、地域産業振興に貢献する“創造的かつ意欲ある若手技術者”の育成のため、学部・大学院での教育はもとより、社会人対象の短期集中研修コースを開設し、地域再生人材養成プログラムにおける「知の拠点」を目指している。

研究部				
金型材料・ 加工技術研究室	固相創形技術研究室 (casting, プレス)	液相創形技術研究室 (casting, 射出成形)	金型要素技術 研究室	計
6	6	7	7	26 人

● 未来型太陽光発電システム研究センター

(平成 18 年 12 月設置)

本センターは、太陽光発電システム未来技術の研究開発を目的に設置した。高効率・大面積・長寿命・高信頼性・低コストを実現させるための太陽電池開発研究を行うとともに、発電施設として実用化するためのシステム開発を行う。

また、本センターにおける研究は、平成 18 年度に(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の3件のプロジェクトに採択されたものであり、太陽光発電システム研究における独創的、先進的研究の拠点として知の創造と統合に努め、環境に優しいエネルギーシステムの創出を目指している。

研究部門			
薄膜シリコン系太陽電池研究開発部門	色素増感太陽電池研究開発部門	発電量評価技術研究開発部門	計
9	7	9	25 人

最近の特色ある研究

明治 6.12
師範研習学校
明治 8. 2
岐阜県師範学校
明治 13. 9
岐阜県華陽学校
明治 19. 5
岐阜県師範学校
明治 19.12
岐阜県尋常師範学校
明治 31. 4
岐阜県師範学校
明治 44. 4
岐阜県師範学校
明治 44. 4
岐阜県女子師範学校

大正 11. 4
岐阜県実業補習学校
教員養成所
昭和 4. 4
岐阜県実業学校
教員養成所
昭和 10. 1
岐阜県青年学校
教員養成所
昭和 18. 4
岐阜師範学校
昭和 19. 4
岐阜青年師範学校

昭和 24. 5 設置
附属図書館

昭和 57.10 廃止
那加分館

昭和 59. 6 廃止
長良分館

平成 16. 3 廃止
医学部分館

昭和 40. 4 設置,
平成 8. 9 廃止
教養部

昭和 24. 5
学芸学部 (昭和 41. 4 教育学部と改称)

昭和 47. 5 設置, 昭和 50. 3 廃止
附属教育工学センター

昭和 50. 4 設置, 平成 15. 3 廃止
附属カリキュラム開発研究センター

明治 8. 8
岐阜県公立病院附属医学校
明治 13. 3
岐阜県医学校
明治 19. 7
廃校

明治 33. 4
私立医学講習所
明治 36. 3
廃校

昭和 19. 4
岐阜県立女子医学専門学校
昭和 22. 6
岐阜県立医科大学
昭和 24. 4
岐阜医工科大学医学部
昭和 25. 4
岐阜県立大学医学部
昭和 29. 5
岐阜県立医科大学

昭和 39. 4
医学部

昭和 42. 6 設置, 平成 6. 3 廃止
附属看護学校

昭和 46. 4 設置, 平成 14. 3 廃止
附属反射研究施設

昭和 53. 4 設置, 平成 15. 3 廃止
附属嫌気性菌実験施設

平成 3.10 併設, 平成 15. 3 廃止
医療技術短期大学部

平成 7. 4 設置, 平成 15. 3 廃止
附属動物実験施設



岐阜県師範学校



岐阜高等農林学校本部棟

昭和 17.12
岐阜県立高等工業学校
昭和 20. 2
岐阜県立工業専門学校
昭和 22. 2
岐阜工業専門学校
昭和 24. 4
岐阜医工科大学工学部
昭和 25. 4
岐阜県立大学工学部

昭和 27. 4
工学部

昭和 34. 4 併設, 平成 6. 3 廃止
工業短期大学部

大正 12.12
岐阜高等農林学校

昭和 19. 4
岐阜農林専門学校

昭和 24. 5
農学部

昭和 24. 5 設置, 平成 16. 3 廃止
附属農場

昭和 28. 4 設置, 平成 16. 3 廃止
附属演習林

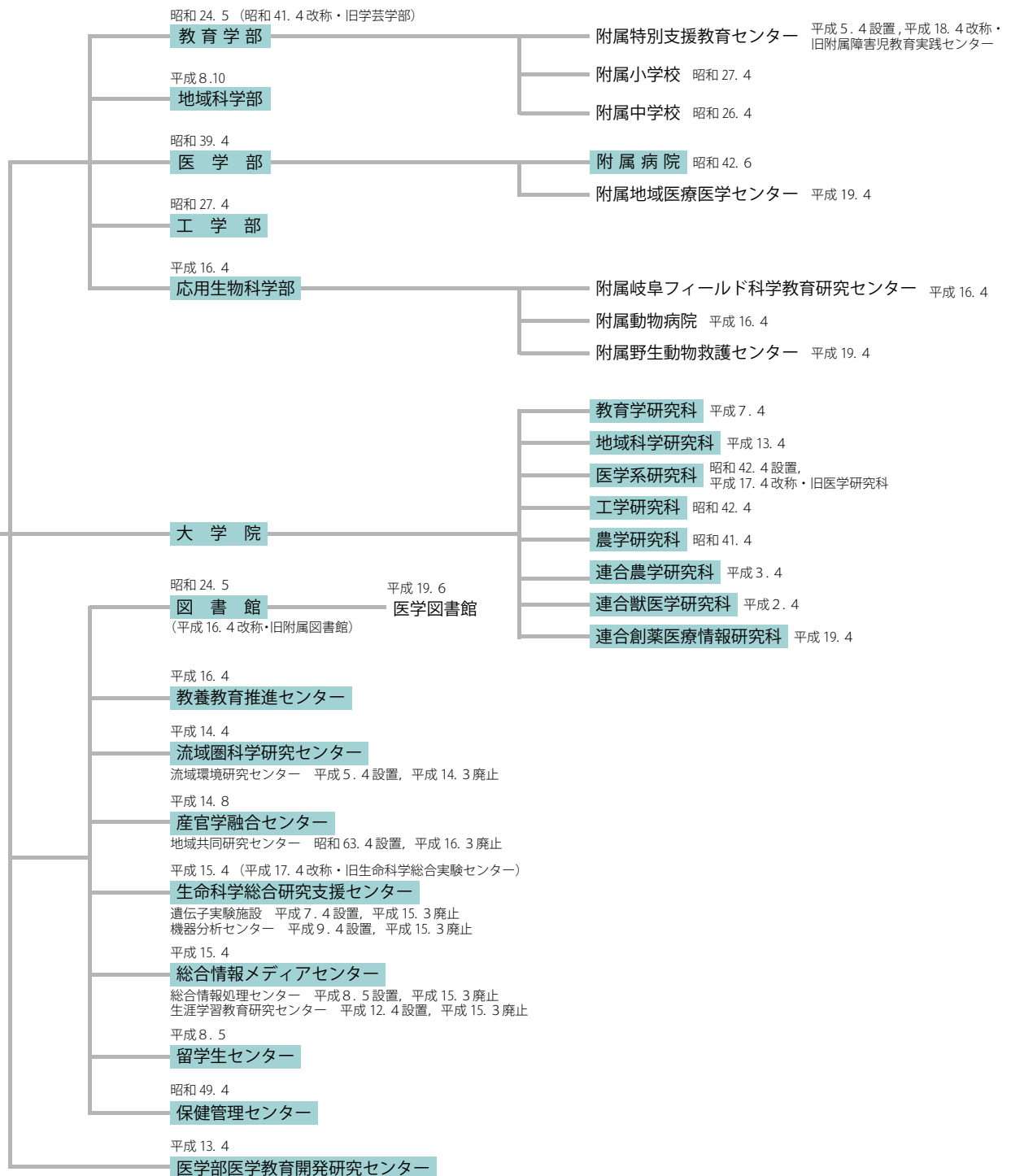
昭和 28. 4 設置, 平成 16. 3 廃止
附属家畜病院

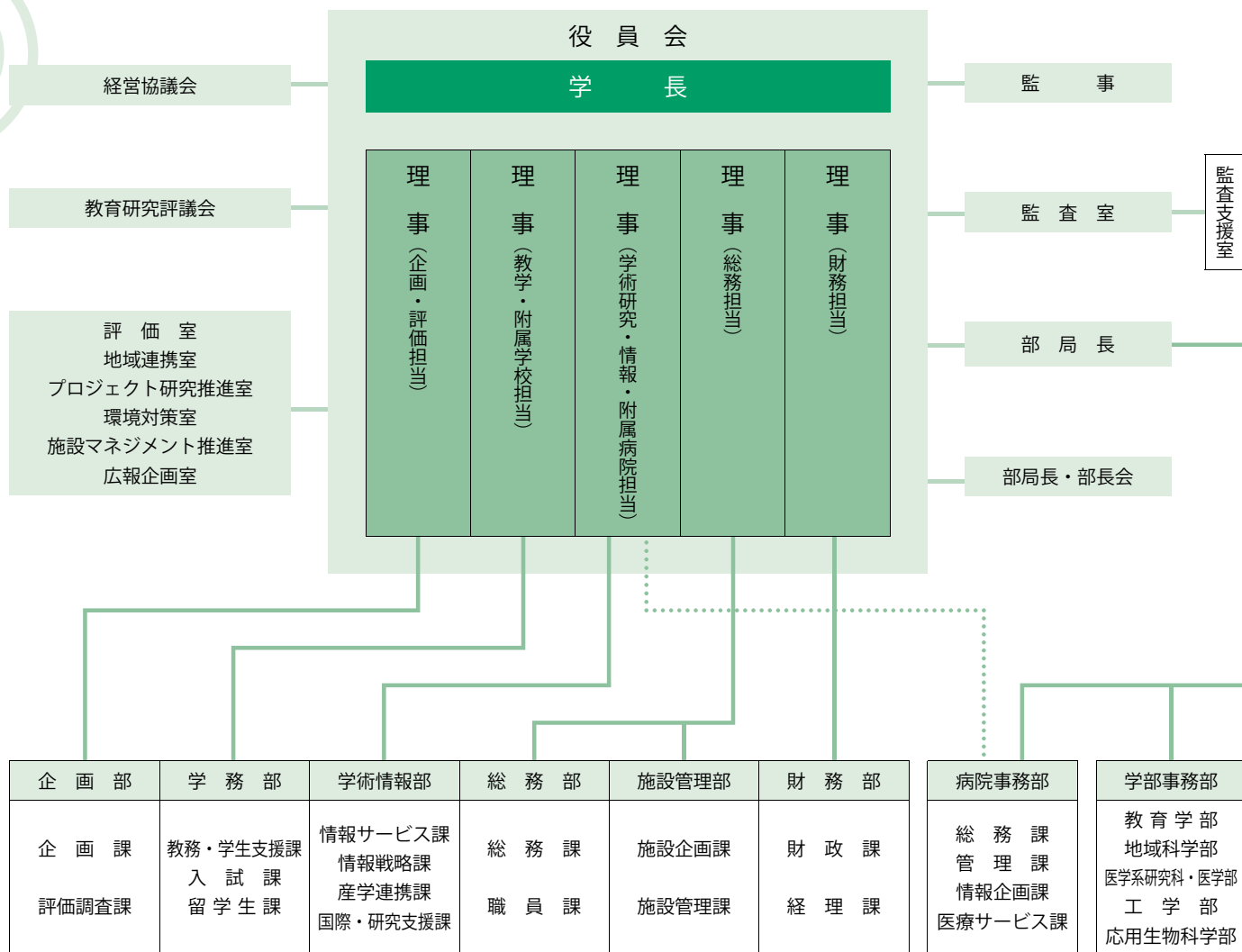
昭和 41. 4 設置, 平成 5. 3 廃止
附属山地開発研究施設

平成 16 年度から学生募集停止
(3 年次編入を除く)

○ 歴代学長

初 代	青 木 文 一 郎	昭和24年 5・31	～	昭和29年 7・1
事務取扱	高 橋 悌 蔵	昭和29年 7・1	～	昭和30年 5・31
第 2 代	吉 井 義 次	昭和30年 6・1	～	昭和36年 5・31
第 3 代	四 方 博	昭和36年 6・1	～	昭和42年 5・31
第 4 代	今 西 錦 司	昭和42年 6・1	～	昭和48年 5・31
第 5 代	林 金 雄	昭和48年 6・1	～	昭和52年 5・31
第 6 代	館 正 知	昭和52年 6・1	～	昭和58年 5・31
第 7 代	早 野 三 郎	昭和58年 6・1	～	平成元年 5・31
第 8 代	加 藤 晃	平成元年 6・1	～	平成 7年 5・31
第 9 代	金 城 俊 夫	平成 7年 6・1	～	平成13年 5・31
第10代	黒木登志夫	平成13年 6・1	～	





学 部

教 育 学 部

附属特別支援教育センター

附属小学校

附属中学校

地域科学部

医 学 部

附 属 病 院

附属地域医療医学センター

工 学 部

応用生物科学部

附属岐阜フィールド科学教育研究センター

附属動物病院

附属野生動物救護センター

大 学 院

教育学研究科

地域科学研究科

医学系研究科

工学研究科

農学研究科

連合農学研究科

岐阜大学

静岡大学

〈信州大学〉※

連合獣医学研究科

岐阜大学

帯広畜産大学

岩手大学

東京農工大学

連合創薬医療情報研究科

岐阜大学

岐阜薬科大学

※平成 17 年度から学生募集停止

専 攻 科

特別支援教育特別専攻科

別 科

農 業 別 科

図 書 館

図 書 館

医学図書館

共通教育施設

教養教育推進センター

研究施設

流域圏科学研究センター

共同教育研究支援施設

産官学融合センター

生命科学総合研究支援センター

総合情報メディアセンター

留学生センター

保健管理センター

プロジェクト研究センター

人獣感染防御研究センター

先端創薬研究センター

金型創成技術研究センター

未来型太陽光発電システム研究センター

全国共同利用施設

医学部医学教育開発研究センター



● 役員		
学 長	黒木登志夫	
理 事(副学長)企画・評価担当	安 田 孝 志	
理 事(副学長)教学担当, 附属学校担当	佐々木嘉三	
理 事(副学長)学術研究・情報・附属病院担当	森 秀 樹	
理 事 総務担当	山 本 晃	
理 事 財務担当	梅 村 将 夫	
監 事	細 田 兼 弘	
監 事(非常勤)	丹 羽 吉 夫	
● 経営協議会委員		
学 長	黒木登志夫	
理 事	安 田 孝 志	
理 事	佐々木嘉三	
理 事	森 秀 樹	
理 事	山 本 晃	
理 事	梅 村 将 夫	
医学部附属病院長	森 脇 久 隆	
名城大学法学部教授	網 中 政 機	
イビデン(株)代表取締役会長	岩 田 義 文	
(財)文化財建造物保存技術協会会長	川 村 恒 明	
岐阜薬科大学長	永 井 博 弋	
(財)癌研究会癌研究所長	野 田 哲 生	
東京理科大学専門職大学院教授	馬 場 鍊 成	
岐阜県副知事	原 正 之	
岐阜市長	細 江 茂 光	
森川・鈴木法律事務所弁護士	森 川 幸 江	
中部大学長	山 下 興 亜	

● 教育研究評議会委員		
学 長	黒木登志夫	
理 事	安 田 孝 志	
理 事	佐々木嘉三	
理 事	森 秀 樹	
理 事	山 本 晃	
理 事	梅 村 将 夫	
教育学部長	古 田 善 伯	
地域科学部長	高 橋 弦	
医学系研究科長	近 藤 直 実	
工学部長	三 輪 實	
応用生物科学部長	古 田 喜 彦	
連合農学研究科長	高見澤一裕	
連合獣医学研究科長	小 森 成 一	
連合創薬医療情報研究科長	北 出 幸 夫	
流域圏科学研究センター長	秋 山 侃	
生命科学総合研究支援センター長	下 澤 伸 行	
総合情報メディアセンター長	村瀬康一郎	
教養教育推進センター長	中 村 征 夫	
留学生センター長	武 脇 義	
教育学部教授	小井土由光	
地域科学部教授	口 藏 幸 雄	
医学系研究科教授	土 肥 修 司	
工学部教授	箕 浦 秀 樹	
応用生物科学部教授	小見山 章	

● 学部・センター長等		
教育学部	学部長(研究科長)	古 田 善 伯
	副学部長	宮 本 正 一
	副学部長	小井土由光
	副学部長	岩 田 恵 司
	附属特別支援教育センター長	大 井 修 三
	附属小学校長	原 田 憲 一
	附属小学校副校長	後 藤 信 義
	附属中学校長	原 田 憲 一
	附属中学校副校長	増 田 行 義
地域科学部	学部長(研究科長)	高 橋 弦
	副学部長	長谷川典彦
	副学部長	口 藏 幸 雄
医学系研究科・医学部	研究科長(学部長)	近 藤 直 実
	副研究科長(副学部長)	土 肥 修 司
	副研究科長(副学部長)	岡 野 幸 雄
	副学部長	後 閑 容 子
	附属地域医療医学センター長	近 藤 直 実
医学部附属病院	病院長	森 脇 久 隆
	副病院長	武 田 純
	副病院長	岩 間 亨
	副病院長(看護部長)	間 宮 礼 子
	薬剤部長	伊 藤 善 規
工学部	工学部長(研究科長)	三 輪 實
	副学部長	箕 浦 秀 樹
	副学部長	八 嶋 厚
	副学部長	竹 内 豊 英

応用生物科学部	学部長(研究科長)	古 田 喜 彦
	副学部長	小見山 章
	副学部長	金 丸 義 敬
	副学部長	柵 木 利 昭
	附属岐阜フィールド科学教育研究センター長	大 谷 滋
	附属動物病院長	鬼 頭 克 也
	附属野生動物救護センター長	石 黒 直 隆
連合農学研究科	研究科長	高見澤一裕
連合獣医学研究科	研究科長	小 森 成 一
連合創薬医療情報研究科	研究科長	北 出 幸 夫
図書館長(兼)		森 秀 樹
医学図書館長		山 本 哲 也
教養教育推進センター長		中 村 征 夫
流域圏科学研究センター長		秋 山 侃
産官学融合センター長		杉 戸 真 太
生命科学総合研究支援センター長		下 澤 伸 行
総合情報メディアセンター長		村瀬康一郎
留学生センター長		武 脇 義
保健管理センター長		武 田 純
人獣感染防御研究センター長		桑 田 一 夫
先端創薬研究センター長		北 出 幸 夫
金型創成技術研究センター長		戸 梶 恵 郎
未来型太陽光発電システム研究センター長		野々村修一
医学部医学教育開発研究センター長		鈴 木 康 之

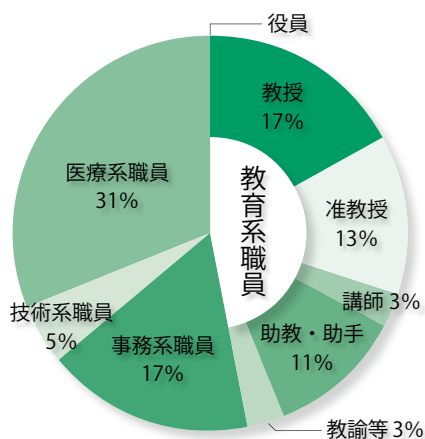
● 役員・職員数

(平成 19.5.1 現在)

区 分	役 員	教育系職員							事務系 職 員	技術系 職 員	医療系 職 員	合 計
		教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	教諭等	小 計				
学 長	1											1
理 事	5											5
監 事	1 (1)											1 (1)
大 学 本 部									131 29	23 2		154 31
教 育 学 部		59 6	38 6					97 12	15 7	1 1		113 20
附属小・中学校							54 9	54 9				54 9
地域科学部		23 1	24 5	2				49 6	9 4			58 10
医 学 部		13 9	11 9		16 14	1 1		41 33	21 7	9 4		71 44
医学系研究科		41 1	30 1	11 1	44 6			126 9				126 9
医学部医学教育開発研究センター		3			3 3			6 3				6 3
医学部附属病院			6	35 2	53 5			94 7	57 15	14 6	529 447	694 475
工学部・工学研究科		78 2	60 4	3	42 1			183 7	28 12	12 1		223 20
応用生物科学部		55	35 2	1	12 2			103 4	21 6	12 1		136 11
大学院連合農学研究科		1 《1》						1 《1》				1 《1》
大学院連合獣医学研究科		《1》						《1》				《1》
大学院連合創薬医療情報研究科		《1》						《1》				《1》
教養教育推進センター				1 1				1 1				1 1
流域圏科学研究センター		6	6		1			13	1 1	1		15 1
産官学融合センター		1	1					2				2
生命科学総合研究支援センター		2	4		4 1			10 1		4 1		14 2
総合情報メディアセンター		7	5 1		1 1			13 2				13 2
留学生センター		2 1	2 1	1 1				5 3				5 3
保健管理センター		1 1	1 1		1			3 2			2 2	5 4
人獣感染防御研究センター		1			5			6				6
合 計	7 (1)	293 21 《3》	223 30	54 5	182 33	1 1	54 9	807 99 《3》	283 81	76 16	531 449	1,704 (1) 645 《3》

※緑書は女性の人数を内数で示す。 ※()は非常勤役員を外数で示す。 ※《 》は併任教育系職員を外数で示す。

● 役員・職員の構成比率



学部

教育学部 3課程 13講座	学校教育教員養成課程 特別支援学校教員養成課程 生涯教育課程	講座	国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術教育, 家政教育, 英語教育, 特別支援教育, 学校教育, 生涯教育
		附属施設	附属特別支援教育センター 附属小学校 附属中学校

地域科学部 2学科 4講座	地域政策学科	講座	地域政策, 地域環境
	地域文化学科		地域文化, 地域構造

医学部 2学科	医学科	学科目	人体構造学, 代謝・機能学, 遺伝・発生・発達学, 病原体学, 薬理・中毒学, 病理学, 神経・精神・行動学, 消化器・検査医学, 内分泌代謝学, 血液学, 循環器・呼吸器学, 腎・尿路学, 運動器学, 皮膚科学, 感覚器医学, 免疫応答学, 女性生殖学, 麻酔・救急・疼痛学, 放射線医学, 地域・産業保健学, 生命倫理・法医学
	看護学科	講座	基礎看護学, 母子看護学, 成人・老年看護学, 地域・精神看護学
		附属施設	附属病院

工学部 9学科 32講座	社会基盤工学科	講座	地圏マネジメント工学, 構造設計学, 環境保全学, 都市デザイン学
	機械システム工学科		設計力学, 創造システム工学, 流体システム工学, 熱エネルギー工学
	応用化学科		分子設計工学, 物質変換工学, 物質機能工学
	電気電子工学科		固体電子工学, 電気エネルギー工学, 情報システム工学
	生命工学科		生体物質工学, 生体反応工学, 応用分子生物学, 生命情報工学
	応用情報学科		情報基礎, 情報環境, 知識情報, メディア情報
	機能材料工学科		材料創成工学, 材料物性工学, 材料プロセス工学
	人間情報システム工学科		人間支援システム工学, 知能制御システム工学, 機械情報工学, エネルギー制御工学
	数理デザイン工学科		計算数理, マテリアルデザイン, システムデザイン

応用生物科学部 3課程 4講座	食品生命科学課程 生産環境科学課程 獣医学課程	講座	応用生命科学, 生物生産科学, 生産環境科学, 獣医学
		附属施設	附属岐阜フィールド科学教育研究センター 附属動物病院 附属野生動物救護センター

専攻科

特別支援教育特別専攻科

別科

農業別科



教育学部



地域科学部



医学部 / 同附属病院



工学部 / 応用生物科学部

教育学研究科	修士課程	学校教育専攻	専修	学校教育
		カリキュラム開発専攻		カリキュラム開発
		特別支援教育専攻		特別支援教育
		教科教育専攻		国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術教育, 家政教育, 英語教育

地域科学研究科	修士課程	地域政策専攻	領域	経済社会, 行政社会, 自然環境
		地域文化専攻		社会生活, 人間文化

医学系研究科	博士課程	医科学専攻	領域	分子・構造学	分野	細胞情報学, 分子生理学, 薬理病態学, 寄生虫学, 遺伝発生学, 内分泌代謝病態学, 小児病態学, 病態情報解析医学
				病態制御学		解剖学, 分子病態学, 高度先進外科学, 整形外科学, 皮膚病態学, 泌尿器科学, 麻酔・疼痛制御学, 蘇生・集中治療学, 口腔病態学
				神経統御学		高次神経形態学, 生理学, スポーツ医科学, 神経内科・老年学, 精神病理学, 脳神経外科学, 耳鼻咽喉科学, 眼科学
				腫瘍制御学		腫瘍病理学, 免疫病理学, 腫瘍外科学, 消化器病態学, 血液病態学, 女性生殖器学, 放射線医学, 疫学・予防医学
				医療管理学		医療情報学, 総合病態内科学, 臨床薬剤学, 医療経済学, 救急・災害医学, 法医学, 産業衛生学
	博士課程前期・後期	再生医科学専攻	領域	再生分子統御学	分野	組織・器官形成, 神経生物, 病原体制御学
				再生工学		生命機能分子設計, 知能イメージ情報
	修士課程	看護学専攻	領域	看護学教育	分野	看護学教育
				実践看護学		母性・小児看護学, 成人急性期看護学, 地域看護学
				附属施設	附属地域医療医学センター	
			寄附講座	骨関節再建外科学講座(ジンマー) 健康障害半減講座(岐阜県)		

工学研究科	博士前期課程	社会基盤工学専攻	講座	地図マネジメント工学, 構造設計学, 環境保全学, 都市デザイン学		
		機械システム工学専攻		設計力学, 創造システム工学, 流体システム工学, 熱エネルギー工学		
		応用化学専攻		分子設計工学, 物質変換工学, 物質機能工学		
		電気電子工学専攻		固体電子工学, 電気エネルギー工学, 情報システム工学		
		生命工学専攻		生体物質工学, 生体反応工学, 応用分子生物学, 生命情報工学		
		応用情報学専攻		情報基礎, 情報環境, 知識情報, メディア情報		
		機能材料工学専攻		材料創成工学, 材料物性工学, 材料プロセス工学		
		人間情報システム工学専攻		人間支援システム工学, 知能制御システム工学, 機械情報工学, エネルギー制御工学		
		数理デザイン工学専攻		計算数理, マテリアルデザイン, システムデザイン		
		環境エネルギーシステム専攻		エネルギーシステム, エクセルギー変換システム, バイオマス変換システム, ハイドレート高圧物性工学, 新機能エネルギー材料学		
	博士後期課程	生産開発システム工学専攻	講座	社会基盤工学, 生産基礎工学		
		物質工学専攻		応用材料化学, 応用分子化学		
		電子情報システム工学専攻		電子物性工学, 知識情報工学		
		環境エネルギーシステム専攻		エネルギーシステム, エクセルギー変換システム, バイオマス変換システム, ハイドレート高圧物性工学, 新機能エネルギー材料学		

農学研究科	修士課程	生物資源生産学専攻	講座	植物生産遺伝学, 森林・緑地管理学, 動物生産学, 多様性生物学		
		生物生産システム学専攻		生産環境整備学, 生物生産制御学, 生産流通管理学		
		生物資源利用学専攻		生物機能工学, 生物資源開発学, 食品科学, 生物反応工学		

連合農学研究科	博士課程	生物生産科学専攻	講座	植物生産利用学, 動物生産利用学, 経営管理学		
		生物環境科学専攻		環境整備学, 生物環境管理学		
		生物資源科学専攻		生物資源利用学, 生物資源化学, 生物機能制御学		

連合獣医学研究科	博士課程	獣医学専攻	講座	基礎獣医学, 病態獣医学, 応用獣医学, 臨床獣医学		
----------	------	-------	----	----------------------------	--	--

連合創薬医療情報研究科	博士課程	創薬科学専攻	領域	生命分子科学, システム生命工学		
		医療情報学専攻		生命情報, 生体制御		

蔵書数

区 分	図 書 (冊)			雑 誌 (種)		
	和 漢 書	洋 書	計	和 雑 誌	洋 雑 誌	計
図 書 館	522,174	219,082	741,256	9,595	4,287	13,882
医学図書館 ^{注1)}	68,588	79,559	148,147	1,317	1,920	3,237

備考 注1) 平成 19 年 6 月 1 日開館 (旧医学部分館等から医学図書館への移動)

開館時間

区 分	月～金曜日	土曜日	日, 祝日 ^(試験期間のみ)	備 考
図 書 館	9:00～21:30	10:00～18:00	10:00～18:00	各季休業中及び3月は閉館時間を変更する場合がある
医学図書館	8:30～20:00	10:00～18:00		医学系研究科・医学部の教員及び大学院生は随時利用可能

休 館 日

図 書 館	日曜日, 祝日 ^{注2)}	年末年始(12.28～1.4)	館内整理日(第2火曜日) ^{注3)}	各季休業期間及び3月の一部土曜日
医学図書館	日曜日, 祝日	年末年始(12.28～1.4)	館内整理日(第2火曜日)	

備考 注2) 試験期間を除く。 注3) 7月, 10月, 1月及び2月を除く。

利用状況(平成 18 年度)

区 分	教 職 員	学 生	学 外 者	計
入館者数	7,006 人	182,416 人	6,212 人	195,634 人
貸出冊数	3,978 冊	50,458 冊	934 冊	55,370 冊
文献複写数	9,585 件		9,228 件	18,813 件

備考 開館日数: 284 日(内時間外 174 日, 土曜日 40 日, 日曜祝日 9 日)



コレクション

コレクション名	摘 要
静嘉堂文庫所蔵国語学資料集成	国語学関係の写本・版本・活字本(明治時代) 472 点, 769 冊のマイクロフィルム版
静嘉堂文庫所蔵歌学資料集成	和歌および連歌俳諧などの古典籍資料 1,333 点, 3,192 冊のマイクロフィルム版
大東急記念文庫所蔵江戸文学総瞰	江戸文学 878 点, 1,530 冊の原本のマイクロフィルム版
大東急記念文庫所蔵古写古版物語文学総瞰	古物語, 説話物語, 歴史物語などの物語文学 95 点, 695 冊のマイクロフィルム版
環境問題研究コレクション	世界各地の環境問題研究の文献 雑誌 19 点, 叢書 26 点, 図書 200 冊のコレクション
明治・大正・昭和期教育関係新聞雑誌 完全復刻版コレクション	明治・大正・昭和の教育関係新聞雑誌の完全復刻版コレクション
Landolt-Börnstein 数値表 第1群 原子核・素粒子物理学	原子核・素粒子物理学に関する数値表
ウェブスター: アメリカ英語辞書コレクション	ウェブスター辞書の 1806 年の初版本から 1943 年までに刊行された辞書の異版 100 点, 108 冊の英語辞書コレクション
特別資料(貴重書)	本学の前身である岐阜師範学校, 岐阜高等農林学校, 県立医科大学当時に収集された江戸, 明治時代の和本及び中国の漢籍を中心に約 1,500 点を特別資料庫に収蔵

大東急記念文庫所蔵
マイクロフィルム版の一部ウェブスター: アメリカ英語辞書
コレクションの一部貴重書の一部
奈良絵本「小しきぶ」2冊

医学部附属病院は、平成 16 年 6 月に新築・移転事業が完了し、柳戸地区で開院した。

病院の第一の特色は、光通信システムによる高性能完全電子カルテ化による診療及び病院経営・管理である。完全電子カルテにより、医療の質の高度均質化、安全性と経営効率の向上及び診療がスピードアップ化している。また、この方式は、病診・病病連携において医療情報交換の迅速化と正確性が保証され、大学病院が、地域医療完結型医療システムの中

心的存在として地域社会に貢献している。

第二の特色は、全診療科から専門医約 30 名と約 80 名の看護師を配置した高次救命治療センターである。診療科の壁を外した横断的診療体制の中で高次救命救急医療を行っている。

本病院は、高度先進医療の開発・提供と医師及び医療人の臨床研修病院の機能を備えた、地域の中核となる 21 世紀型「Intelligent Hospital」である。

(平成 19.4.1 現在)

● 患者数 (平成 18 年度)	
外来延べ患者数	309,109 人
外来初診患者数 (内数)	23,703 人
1 日平均外来患者数	1,270.3 人
入院延べ患者数	190,197 人
1 日平均入院患者数 (内数)	521.1 人
病床稼働率	86.0%

● 診療科及び病床数	
区 分	病床数
第 1 内科	49
第 2 内科	49
第 3 内科	35
神経内科・老年科	6
第 1 外科	39
第 2 外科	39
産科婦人科	35
整形外科	35
脳神経外科	22
眼科	29
耳鼻咽喉科	35
皮膚科	16
泌尿器科	25
精神神経科	37
小児科	40
放射線科	11
麻酔科・疼痛治療科	6
歯科口腔外科	10
総合診療部	4
高次救命治療センター	22
ICU	4
共通	58
計	606



医学部附属病院

● 薬 剤 部

● 看 護 部

● 中央診療施設等

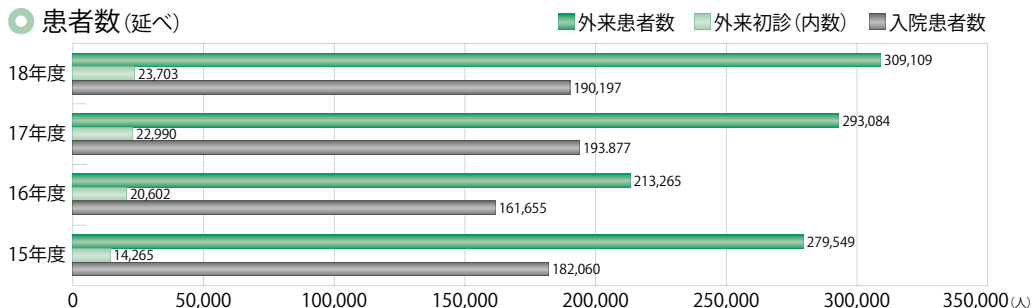
検査部	光学診療部	共通 RI 検査室
放射線部	高次救命治療センター	分娩部
材料部	医療連携センター	リハビリテーション部
輸血部	生体支援センター	医療機器センター
病理部	腫瘍センター	治験管理センター
総合診療部	栄養管理室	卒後臨床研修センター
医療情報部		高次画像診断センター

院内措置

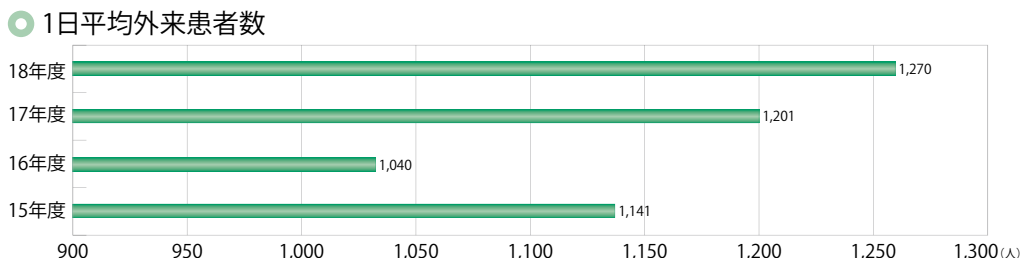
● 危機管理室

● 医療安全管理室

● 患者数 (延べ)



● 1日平均外来患者数





● 教養教育推進センター

「人文、社会、自然などについての幅広い知見」の育成のため、すべての学部の教員がすべての学生に対して行う教養教育に関し、全学共通施設として教材研究・開発、授業編成、点検・評価等の総合的推進を図る。

教養教育推進センター

● 流域圏科学研究センター

流域圏における植生系、河川水系及び土壌地盤系の多様な自然科学的事象並びに人為的事象の解明に関する学術研究を行うとともに、本学的环境科学研究の中核として、21世紀COEプロジェクトを推進、発展させる。

[植生資源研究部門、水系安全研究部門、流域情報研究部門]



流域圏科学研究センター



● 産官学融合センター

リエゾン機能、知的財産マネジメント機能、インキュベーション機能及び契約事務機能を備え、産・官・学の連携について学内外からの相談に対応できるワンストップ・ウィンドウ(総合相談窓口)を形成している。

[地域共同研究部門、バーチャルシステムラボラトリー部門、インキュベーション部門]

産官学融合センター

● 生命科学総合研究支援センター

ゲノム・プロテオーム解析や遺伝子組換え、ナノテクノロジー、放射性同位元素を用いた技術、大型分析機器を用い、生命科学に関連する先進的分野の教育研究を行うとともに放射性同位元素、実験動物、大型分析機器の管理など、学内の研究を推進・支援する。

[ゲノム研究分野、嫌気性菌研究分野、動物実験分野、機器分析分野、放射性同位元素管理室]



ゲノム研究分野棟



● 総合情報メディアセンター

センターが保有する情報関連機器及び情報ネットワークシステムの整備、学内に対する提供等を行うとともに、情報メディアの活用、e-Learningシステム、地域連携システム等の開発研究を行い、本学における教育・研究・事務の高度情報化の総合的な推進をはかる。

[高度情報システム開発研究部門、情報メディア開発研究部門、カリキュラム開発研究部門、生涯学習システム開発研究部門、情報システム管理部門]

高度情報システム開発研究部門棟





● 留学生センター

外国人留学生に対する日本語・日本事情その他修学上に必要な教育や生活上の指導助言，海外留学を希望する学生に対する指導助言，夏期短期留学生の受入れ及び派遣の企画・運営など学生の国際交流推進に関する業務を行う。

留学生センター

● 保健管理センター

学生及び職員の健康増進，並びに学生の安全衛生環境保持・改善を図ることを主な目的とし，学内の保健計画の立案・実践について指導援助している。学生健康診断の実施とそれに基づく生涯の健康を守るための保健指導，就学支援，救急処置，健康相談，健康啓発活動と，その業務は多彩である。

また，学生の健康に関する調査・研究を行い，学内の施策提言につなげているほか，県内の各大学と協働し，その中核として大学生の健康管理に関する研究会を推し進め，地域貢献を担っている。



保健管理センター



● 宇宙電波観測所

電波天文学及び測地学の研究と技術開発の推進に資することを目的としている。主要設備である直径11mの電波望遠鏡は，国内外の電波望遠鏡との共同観測により，ブラックホール近傍の詳細な電波構造の解析ができるようになるとともに，大陸間の距離を数ミリメートルの精度で計測することが可能である。本学の教育・研究への貢献はもとより，東海地区の地殻変動の測地基準点として，地域への貢献も期待されている。

11m 電波望遠鏡

全国共同利用施設

● 医学部医学教育開発研究センター

本学が独自に推進してきたチュートリアル教育，模擬患者による医療コミュニケーション教育，e-Learning，バーチャル教材開発，クラークシップ型臨床教育などを基礎とし，全国の大学教員，指導医等とともに，医学教育のための人材育成，教育方法の開発・研究を推進する。

[チュートリアル部門，バーチャルスキル部門]



チュートリアル教育



模擬患者実習



医学教育ワークショップ



スキルラボ実習



学部学生

(平成 19 年 5 月 1 日現在) (人)

学 部		入 学 定 員	3 年次 編入学	現 員						
				1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次	計
教育 学 部		250		274	286	286	314			1,160 (733)
地域科学部		100	10	101	115	121	127			464 (290)
医 学 部	医 学 科	80		81	81	87	82	75	82	488 (148)
	看 護 学 科	80	10	83	80	91	92			346 (318)
工 学 部		510	30	584	580	617	793			2,574 (323)
応用生物科学部*	食品生命科学課程 生産環境科学課程	160	10	170	168	194	192			724 (385)
	獣医学課程	25	5	29	29	38	34	30	31	191 (93)
計		1,205	65	1,322	1,339	1,434	1,634	105	113	5,947 (2,290)

* 応用生物科学部の現員には、改組前の農学部生物資源生産学科, 生物生産システム学科, 生物生産利用学科, 獣医学科の在籍者を含む。 現員には、外国人留学生を含み、() 内は女子を内数で示す。

大学院生

修士課程(博士前期課程)

(人)

研 究 科	課 程	入 学 員 定 員	現 員					学 位 名
			1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
教育学研究科	修 士 課 程	62	91	68			159 (82)	修士(教育学)
地域科学研究科	修 士 課 程	20	25	30			55 (28)	修士(地域科学)
医学系研究科	修 士 課 程	8	8	16			24 (23)	修士(看護学)
	博士前期課程	11	17	17			34 (3)	修士(再生医科学)
工学研究科	博士前期課程	275	297	341			638 (46)	修士(工学)
農学研究科	修 士 課 程	89	97	101			198 (81)	修士(農学)
計		465	535	573			1,108 (263)	

博士課程(博士後期課程)

医学系研究科*	博 士 課 程	47	33	37	37	64	171 (37)	博士(医学)
	博士後期課程	6	10	16	27		53 (7)	博士(再生医科学)
工学研究科	博士後期課程	27	18	30	44		92 (13)	博士(工学)
連合獣医学研究科	博 士 課 程	15	37	28	28	31	124 (35)	博士(獣医学)
計		95	98	111	136	95	440 (92)	

* 医学系研究科の現員には、改称前の医学研究科の在籍者を含む。

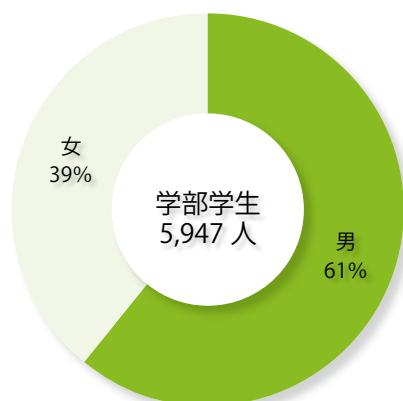
博士課程(後期 3 年のみの博士課程)

連合農学研究科	博 士 課 程	16	32	40	76		148 (50)	博士(農学)
連合創薬医療情報研究科	博 士 課 程	6	12	-	-		12 (1)	博士(工学又は医科学又は薬科学)
計		22	44	40	76		160 (51)	

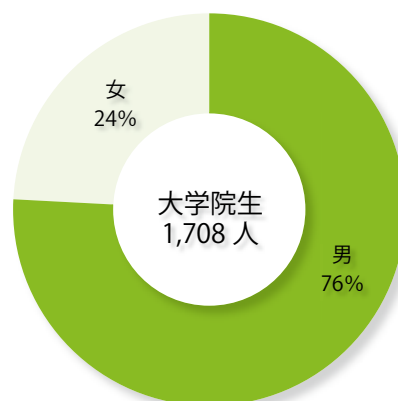
合 計		582					1,708 (406)	
-----	--	-----	--	--	--	--	-------------	--

現員には、外国人留学生を含み、() 内は女子を内数で示す。

男女比率(学部学生)



男女比率(大学院生)



● 専攻科

(人)

専攻科	入学定員	現員
特別支援教育特別専攻科	15	14

● 別科

(人)

別科	入学定員	現員
農業別科	20	0

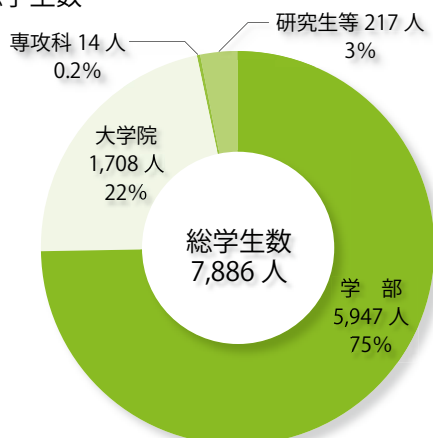
● 研究生・科目等履修生・聴講生等

(人)

部局等	研究生	特別研究学生	科目等履修生	聴講生	特別聴講学生	現職教育内地留学生	日本語研修留学生	日本語・日本文化研修留学生	計
教育学部	23 〈22〉		7	1	2 〈2〉	1			34 〈24〉
地域科学部	14 〈14〉			4	1 〈1〉	1			20 〈15〉
医学部	88 〈3〉			1					89 〈3〉
工学部	11 〈7〉				5 〈5〉				16 〈12〉
応用生物科学部	12 〈11〉								12 〈11〉
教育学研究科	4 〈4〉	1 〈1〉	3						8 〈5〉
地域科学研究科	1	2 〈2〉							3 〈2〉
医学系研究科		1 〈1〉							1 〈1〉
工学研究科	1								1
農学研究科	2 〈1〉								2 〈1〉
連合農学研究科									
連合獣医学研究科		1							1
連合創薬医療情報研究科									
流域圏科学研究センター	1								1
総合情報メディアセンター	1 〈1〉					1			2 〈1〉
生命科学総合研究支援センター									
留学生センター					3 〈3〉		1 〈1〉	6 〈6〉	10 〈10〉
国際ネットワークコンソーシアム*					17				17
合 計	158 〈63〉	5 〈4〉	10	6	28 〈11〉	3	1 〈1〉	6 〈6〉	217 〈85〉

*国際ネットワークコンソーシアムとは、岐阜県と県内18大学等からなる大学連合。学生は、単位互換制度のもとに他大学の授業を受講し、単位を修得すれば自校の単位として認定される。〈 〉内は外国人留学生を内数で示す。

● 総学生数



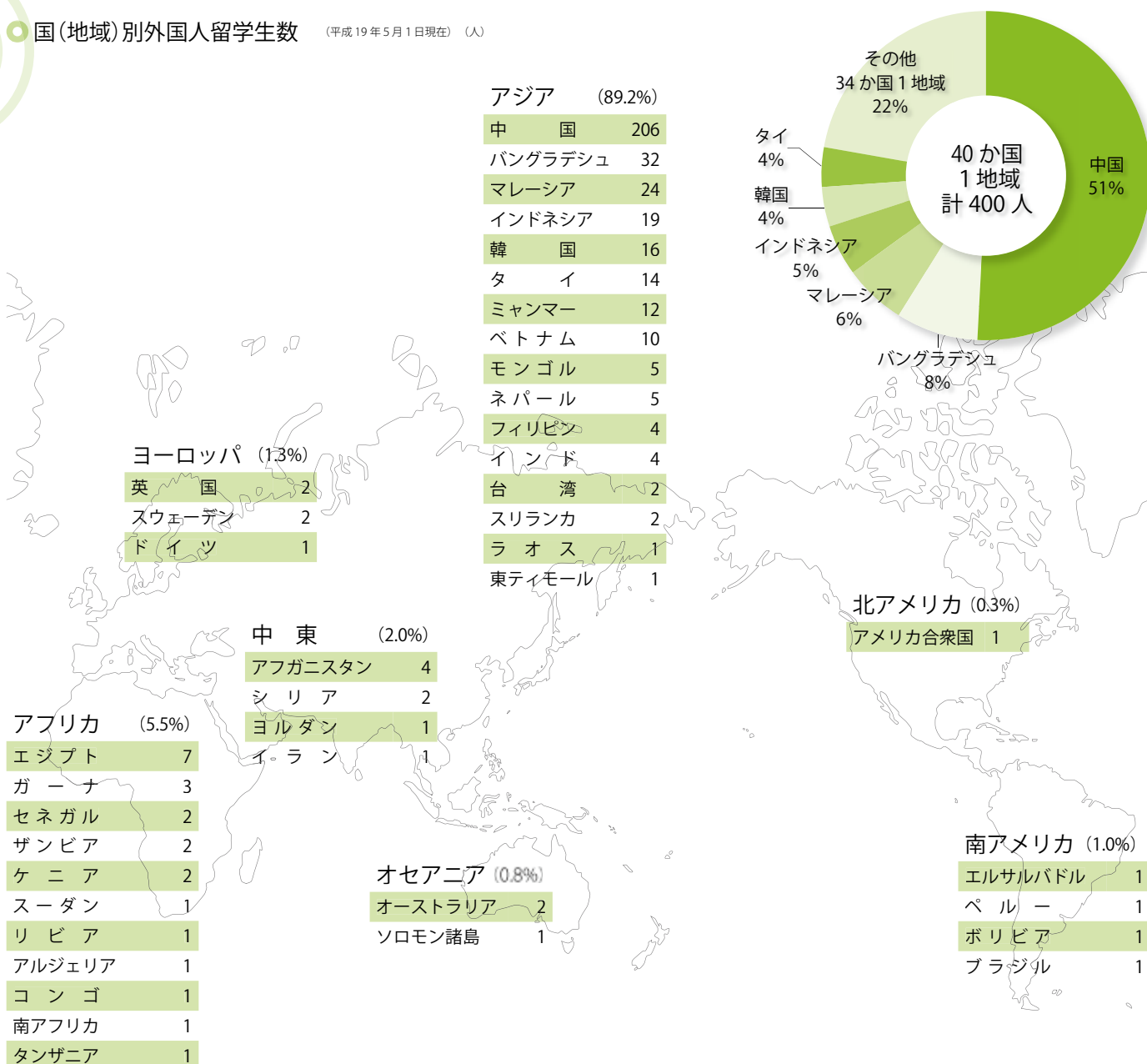
● 附属学校 児童・生徒数

(人)

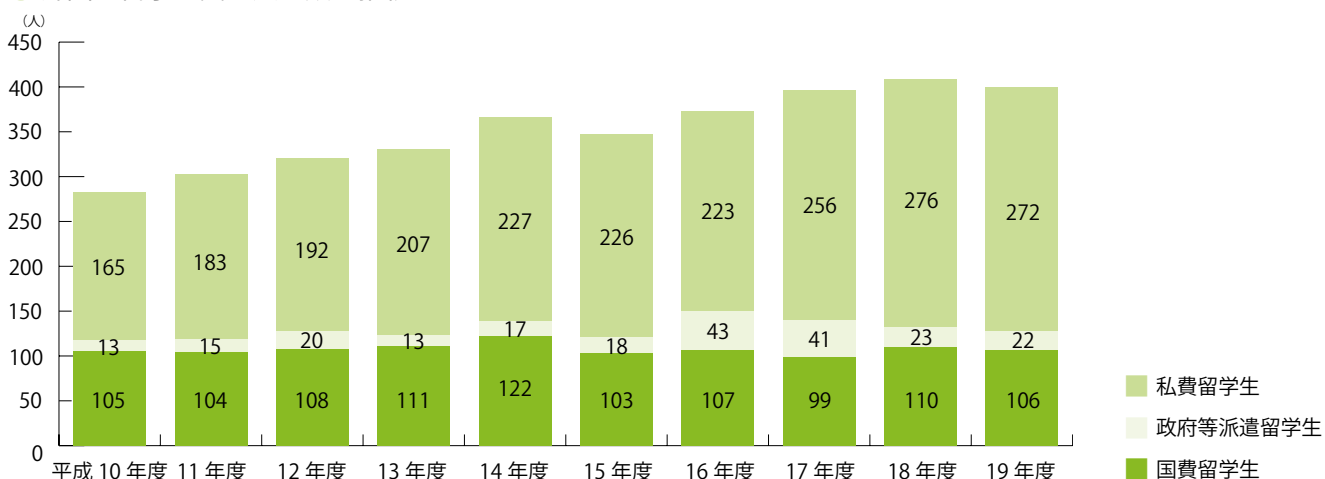
学校名	学級別	学級数	入学定員	現員
教育学部附属小学校	普通学級	18	120	718
	特別支援学級	3	8	15
教育学部附属中学校	普通学級	12	160	475
	特別支援学級	3	8	21
合 計				1,229

● 国(地域)別外国人留学生数 (平成19年5月1日現在) (人)

学生数【外国人留学生】



● 外国人留学生受け入れ数の推移 (平成10年度～19年度)



学部

学 部	募集人員	志願者数			入学者数		
		男	女	計	男	女	計
教育学部	250	583	950	1,533	106	168	274
地域科学部	100	231	312	543	42	59	101
医学部	160	2,634	1,100	3,734	68	92	160
工学部	510	1,396	196	1,592	493	70	563
応用生物科学部	185	270	342	612	87	112	199
計	1,205	5,114	2,900	8,014	796	501	1,297

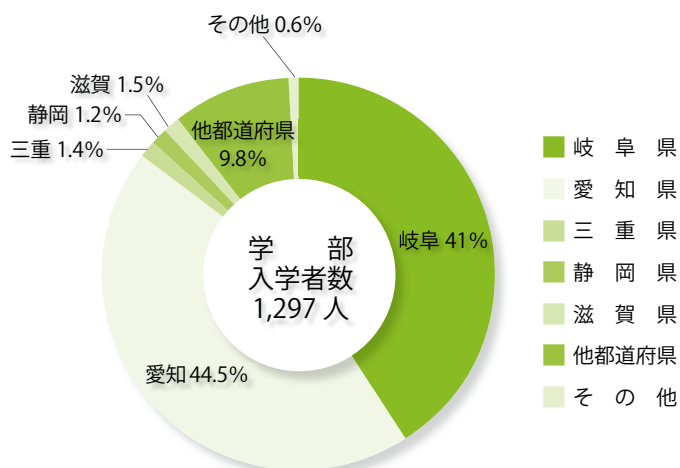
3年次編入学者を除く。

大学院

大 学 院		募集人員	志願者数			入学者数		
			男	女	計	男	女	計
教育学研究科		62	64	73	137	47	41	88
地域科学研究科		20	21	21	42	13	12	25
医学系研究科	修士課程	8	1	11	12		8	8
	博士課程	47	26	8	34	25	8	33
	博士前期課程	11	19	1	20	16	1	17
	博士後期課程	6	8	2	10	8	2	10
工学研究科	博士前期課程	275	356	30	386	276	21	297
	博士後期課程	27	17		17	15		15
農学研究科		89	85	46	131	63	34	97
連合農学研究科		16	17	10	27	17	9	26
連合獣医学研究科		15	27	11	38	24	10	34
連合創薬医療情報研究科		6	11	1	12	11	1	12
計		582	652	214	866	515	147	662

出身高校等の所在地別入学状況(学部)

都道府県名	教育学部	地域科学部	医学部	工学部	応用生物科学部	計
岐阜県	187	51	60	186	47	531
愛知県	61	40	53	324	99	577
三重県	3	3	3	5	4	18
静岡県	2	2		5	7	16
滋賀県	3		1	11	5	20
他都道府県	18	4	43	27	35	127
その他		1		5	2	8
計	274	101	160	563	199	1,297



学部卒業者

(人)

学 部 名		平成 18 年度	累 計
教育学部		274	15,316
地域科学部		114	786
医 学 部		163	3,333
工 学 部	昼間コース	547	17,515
	夜間主コース	36	750
農 学 部		186	10,900
計		1,320	48,600

専攻科修了者

(人)

専 攻 科	平成 18 年度	累 計
特殊教育特別専攻科	19	151

別科修了者

(人)

別 科	平成 18 年度	累 計
農 業 別 科	2	939

平成 18 年度卒業生進路状況

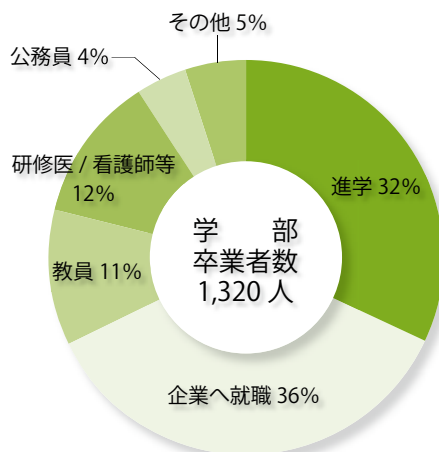
(平成 19 年 5 月 1 日現在) (人)

学 部 名		教育学部	地域科学部	医 学 部		工 学 部		農学部	計
				医学科	看護学科	昼 間 コース	夜間主 コース		
卒業生数		274	114	80	83	547	36	186	1,320
内 訳	進学者数	44	12		1	285	8	70	420
	就職者数	217	97		82	248	16	94	754
	社会人学生*1						3		3
	臨床研修医			77					77
	そ の 他	13	5	3		14	9	22	66

産 業 別 就 職 者 数	農業、林業							6	6
	建設業	1	1			24	1	2	29
	製造業	7	14			146	13	32	212
	電気・ガス・熱供給・水道業					9		1	10
	情報通信業	2	3			23	1	1	30
	運輸業		3			3		1	7
	卸・小売業、飲食店・宿泊業	9	22			6	1	8	46
	金融、保険業	10	10			8	1	2	31
	不動産業	3	1			2			6
	医療業・保健衛生	1	2		82	4		1	90
	社会保険・福祉・介護事業								0
	学校教育	148						2	150
	その他の教育・学習支援	9	1			1		2	13
	複合サービス業	5	4			2		6	17
	サービス業	7	25			8	2	19	61
計		217	97	0	82	248	19	94	757

* 1 社会人学生とは卒業後、現職に留まる者で、産業別就職者数に含む。

学部卒業者



● 学位授与者

(人)

学位の種類			平成 18 年度	累 計
博 士	医 学	課程博士	30	697
		論文博士	10	1,418
	再生医科学	課程博士	10	20
	工 学	課程博士	23	324
		論文博士	3	55
	農 学	課程博士	38	455
		論文博士	8	120
	獣 医 学	課程博士	28	232
論文博士		6	82	
計			156	3,403

(人)

学位の種類		平成 18 年度	累 計
修 士	教 育 学	69	661
	地 域 科 学	25	116
	再生医科学	20	67
	看 護 学	2	2
	工 学	253	4,543
	農 学	69	1,901
計		438	7,290

● 平成 18 年度修了者進路状況

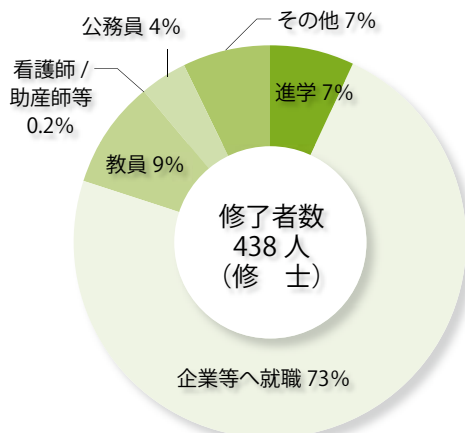
(平成 19 年 5 月 1 日現在) (人)

研究科名(課程)		教育学研究科	地域科学研究科	医学(系)研究科	医学系研究科	工学研究科	農学研究科	医学研究科	医学研究科	工学研究科	連合農学研究科	連合獣医学研究科	計
		修士課程	修士課程	博士前期課程	修士課程	博士前期課程	修士課程	博士課程	博士後期課程	博士後期課程	博士課程	博士課程	
修了者数*1		69	25	20	2	253	69	29	8	22	38	28	563
内 訳	進学者数	6	2	5*2		8	8						29*2
	就職者数	29	15	17*2	2	235	51	27	8	9	30	15	438*2
	社会人学生*3	30								8			38
	そ の 他	4	8			10	10	2		5	8	13	60

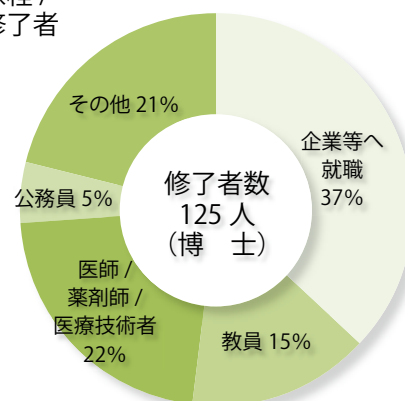
産 業 別 就 職 者 数	農業, 林業					4					1	2	7
	建設業	1				20				5			26
	製造業	2	4	11		175	25	1		4	2		224
	電気・ガス・ 熱供給・水道業					4				1			5
	情報通信業		2	4		15	4			1			26
	運輸業		1										1
	卸・小売業, 飲食店・宿泊業					4	2				1		7
	金融, 保険業		2			1	2						5
	不動産業												0
	医療業・ 保健衛生				1		1	22	5		1	1	31
	社会保険・福祉・ 介護事業	12	1										13
	学校教育	38			1	2	1	4	3	1	18	5	73
	その他の教育・ 学習支援		1										1
	複合サービス業	1					4						5
	サービス業	1	3	1		6	4			4	4		23
	国家公務										1		1
	地方公務	4	1	1		8	3			1	2	2	22
	そ の 他						1					5	6
計		59	15	17	2	235	51	27	8	17	30	15	476

* 1 修了者数には単位修得退学者を含む。 * 2 進学かつ就職をした者(2人)は、両欄に計上。 * 3 社会人学生とは修了後、現職に留まる者で、産業別就職者数に含む。

● 博士前期課程 /
修士課程修了者



● 博士後期課程 /
修士課程修了者



○ 福利厚生施設等

施設名	食堂・喫茶	売店	課外活動	就職支援
大学会館	第1食堂(456席) 第3食堂(100席) 自動販売機コーナー(104席) 共用談話室	売店、書店 現金自動預金支払機	大ホール 音楽鑑賞室 第1～第6集会室 第9～第11集会室(9,11和室)	就職相談室 就職情報室
第2食堂	ホール(420席) 喫茶室(100席) 自動販売機コーナー(35席)	売店、書店 生協紹介コーナー		
医学部 教育・福利棟	医学部食堂(132席)			

大学会館

○ 学生寮

施設名	室数	収容定員
黒野寮 (岐阜市柳戸14番)	200(男性)	200
	75(女性)	75



黒野寮

○ 体育施設・課外活動施設

施設名	施設の内容	施設名	施設の内容
屋内体育施設	体育館 第1体育館, 第2体育館 更衣室(ロッカー・シャワー), 器具庫	体育系サークル共用施設	共用室10室(1室2サークル), 会議室1室
	武道場 (剣道場, 柔道場)	文化系サークル共用施設	共用室10室(1室和室) (1室2～4サークル)
	弓道場	合宿所	研修室(宿泊室と兼用)4室, 浴室, 補食室
屋外体育施設	陸上競技場 400m8コース	課外活動施設	学外合宿研究施設 宿泊室30室, ホール 談話室2室 研修医宿泊室6室
	野球場		自動車車庫
	テニスコート 18面(クレイ12面, 全天候6面)		グライダー格納庫
	バレーボールコート 4面(全天候)		きゅう舎・馬場
	ハンドボールコート 2面(クレイ1面, 全天候1面)		アーチェリー場
	バスケットボールコート 3面(全天候)		
	サッカー場 1面		
	ラグビー場 1面		
	水泳プール 1基(50m8コース)		

アーチェリー場



21 世紀 COE プログラム

年 度	プログラム名	拠 点	分 野
平成 14 ～ 18 年度	野生動物の生態と病態からみた環境評価	大学院連合獣医学研究科	複 合 領 域
平成 16 ～ 20 年度	衛生生態学創生拠点	流域圏科学研究センター	革新的学術分野
	「衛生生態学」とは、リモートセンシング研究と生態プロセス研究の完全な統合であり、流域圏科学研究センターを核として、工学研究科、連合農学研究科が協力して新しい学問分野の確立と革新的な学術研究の推進を目指すものである。 これによって、ヒトと自然生態系の共生及び資源・環境の利用と保全の方策を提案するだけでなく、それを具体化する技術者を養成することも可能にすべく取り組んでいる。		

特色ある大学教育支援プログラム等

特色ある大学教育支援プログラム(特色 GP)

年 度	プログラム名	部 局	テ ー マ
平成 15 ～ 18 年度	能動・思考促進型を柱とする全人的医学教育	医 学 部	教育方法の工夫改善
平成 16 ～ 19 年度	地域・大学共生型教師教育システム	教 育 学 部	大学と地域・社会との連携の工夫改善
	このプログラムは、平成 7 年度から教育学部と岐阜県教育委員会が連携して進めてきた ①現職教員の研修プログラム、②テレビ会議システムを利用した夜間遠隔大学院及び免許法認定公開講座、③学校現場と大学との往復的な実践教育の 3 つの取組の成果を基にしている。		

現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代 GP)

年 度	プログラム名	部 局	テ ー マ
平成 16 ～ 18 年度	地域協型の風土保全教育プログラム ーぎふ公民館大学ー	応用生物科学部 地域科学部	地域活性化への貢献
平成 16 ～ 18 年度	教師のための遠隔大学院カリキュラムの開発	教 育 学 部	IT を活用した実践的遠隔教育(e-Learning)
平成 19 ～ 21 年度	臨床医学教育を強化向上させる ICT ー e-Learning で培う医の心と技ー	医学部医学教育開発 研究センター	教育効果向上のための ICT 活用教育の推進
	このプログラムは、ICT を活用した e-Learning とシミュレーション教育により、安心・安全な学習環境下で、学生が繰り返し自己学習することにより、知識のみならず、医の心と技をより一層獲得できる教育体制を目指す。さらに、自己評価と省察を基本とした e-ポートフォリオの導入により、より完成度の高い臨床医学教育を行う。		

資質の高い教員養成推進プログラム(教員養成 GP)

年 度	プログラム名	部 局	取 組 区 分
平成 18 ～ 19 年度	教育臨床実習重視の教師発達支援プログラム	教 育 学 部	大学院における高度専門職業人養成に係る取組
	このプログラムは、教育学研究科がこれまで実施してきたリアルタイムで講義を行う「サテライト型」の遠隔大学院での実績をもとに、現職教員が自宅や職場でのネットワーク環境下で学習できる、「インターネット型大学院」の実現を目指す。 また、この新しいタイプの大学院のためのカリキュラム(教育内容、カリキュラム運用、教育方法)の開発を行っている。		

岐阜大学は、地球規模あるいは社会全体が抱える課題である環境、バイオ、情報、教育などの21世紀の重要テーマについて、取組みの成果を世界に発信するため、平成13年度から「岐阜シンポジウム」を春と秋の年2回開催しています。

岐阜シンポジウム

テ ー マ	開 催 日	内 容	参加者数
第1回 再生医学と創薬	平成13年9月13日 ～14日	再生医学の基礎ー現状と将来の展望ー 再生医学の応用ー現状と将来の展望ー 再生シグナル伝達機構と創薬	335 人
第2回 いま、教育を考える	平成14年5月31日 ～6月1日	IT時代の教育 ゆとり教育 専門教育の新しい動き 教養教育のハードとソフト 学校の現場から 私の教育論 人間の知的発達と教育	960 人
第3回 がん予防 ーそのメカニズムと実践ー	平成14年11月5日 ～6日	がん予防の分子メカニズム がんの Chemoprevention 感染に伴う発がんの予防 がん予防の実際	143 人
第4回 東海地震 ー広域災害にどう備えるかー	平成15年6月4日 ～5日	東海地震の予知技術の現状と被害の広域性 岐阜県周辺地域の地震災害の特徴と防災組織の現状 広域災害時における医療体制	674 人
第5回 環境とエネルギー ー人と自然のフェアプレーー	平成15年12月5日 ～6日	自然の恵みーバイオマスエネルギー 岐阜県における新エネルギー導入の展開 究極のクリーンエネルギーー燃料電池ー 太陽光発電の現状と未来 自然との融合を目指して	927 人
第6回 野生動物の生態と病態から みた環境評価	平成16年6月11日 ～12日	野生動物の感染症 野生動物の生理・生態 野生動物からみた環境評価	656 人
第7回 地域貢献	平成16年11月26日	岐阜学を求めて ー持続可能な地域づくりと大学の貢献ー	430 人
第8回 食の安全	平成17年6月10日 ～11日	食の安全と食料自給 食の安全と健康 遺伝子組換え食品	645 人
第9回 健康を守る ー創薬と予防・治療ー	平成17年10月28日 ～29日	健康を守るー創薬の最先端ー 創薬の最前線 創薬を支える先端バイオテクノロジー 健康を守るー生活習慣病の予防と治療ー	362 人
第10回 ITとロボットで診る・治す ーロボティック先端医療ー	平成18年7月8日	知的クラスター創成事業「岐阜・大垣地域ロボティック先端医療クラスター」研究開発成果 IT,VR, ロボット技術と医療に関する最先端情報	99 人
第11回 岐阜、森とともに生きる風土	平成18年11月4日	ぎふ公民館大学の成果報告 パネルディスカッション：森と風土	213 人
第12回 岐阜学をもとめて part2 ー地域（現場）から、地域の生活 と地域づくりを考えるー	平成19年6月8日 ～9日	地域から地域づくりを考える 福祉の現場から地域の生活を考える フォーラム：地域学のあり方を考えるー持続可能な地域連携と教育プログラムー	383 人

● 平成 19 年度公開講座実施計画

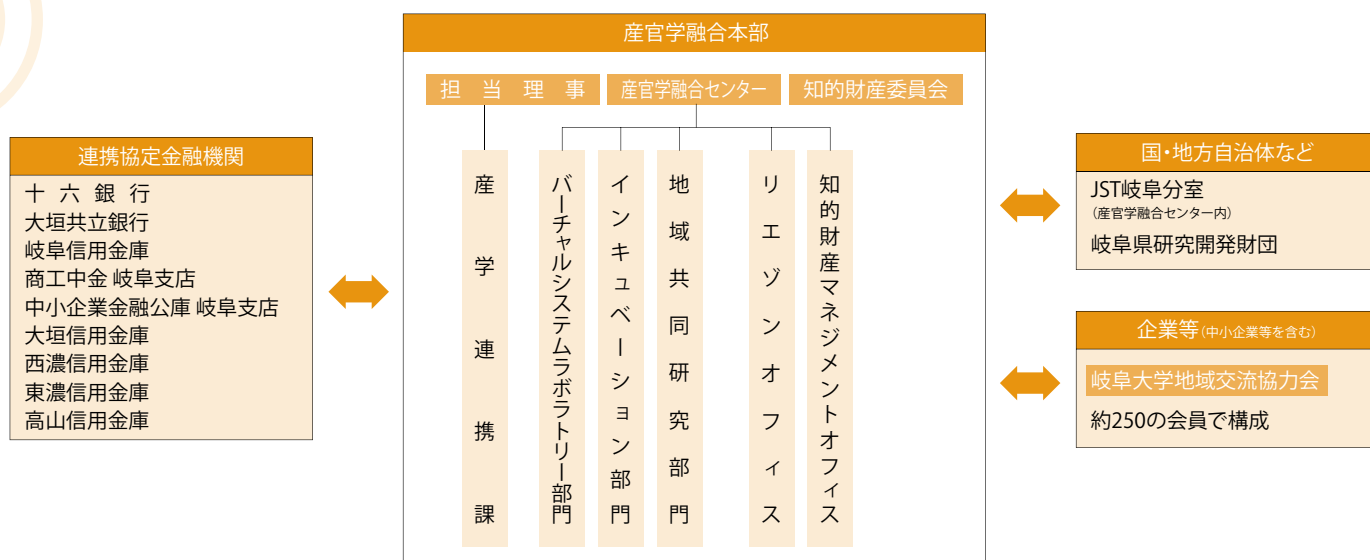
担 当 部 局	講 座 名		実 施 日 程	総時間数	対 象
教育学部	授業公開講座	言語文化論	10月2日(火)～20年2月22日(金)	30 時間	一般社会人
		スポーツカウンセリング	10月2日(火)～20年2月22日(金)		
	親子天文教室(4回)		4月28日(土),7月,11月,3月予定	3 時間×4	小中学生とその保護者・一般
	昆虫教室「わくわく,びっくり!昆虫探検」		7月28日(土)	2 時間	小学校低学年とその保護者
	美術教育講座		10月20日(土)～11月17日(土)	8 時間×6	高校生
	「高校生のための美術教室」(6講座)				
	化石教室「三葉虫を調べよう」		11月3日(土)〈予定〉	3 時間	小中学生 (保護者は参観)
地域科学部	戦争と平和を考えるⅡ		9月15日(土)～10月6日(土)	15 時間	市民一般 (高校生を含む)
工学部	工学の最前線 -2007-	接着の化学と技術ー上手に接着をするためにー	4月16日(月)	1.5 時間	市民一般, 技術者, 学 生
		情報通信理論と多面体の数理 (モールス信号からデジタル通信へ)	4月24日(火)	1.5 時間	
		地球における雷の役割生命の誕生から雷災害, 温暖化指標まで	6月28日(木)	1.5 時間	
		放射光を使って蛋白質の動きを見る	7月17日(火)	1.5 時間	
		「こんなことしてます社会基盤工学科」 ー微生物や植物による環境修復の可能性と課題ー ー自然エネルギーを支える社会基盤技術ー ー自分達でやらなきゃ!安全・安心なまちづくりー ー地震を正しく恐れ,正しく備えるためにー	8月7日(火)	5.5 時間	高校生, 教 員, 一般市民
		ネットワーク理論とは? ー易しい数理モデルほど研究は難しいー	10月5日(金)	1.5 時間	市民一般, 技術者, 学 生
		バーチャルリアリティとシミュレーション	10月17日(水)	1.5 時間	
		「製品事故と機械技術者の責任」 ー特に締結・接合部に着目した事故例と力学的・技術的解説ー	10月上旬	1.5 時間	
		石油と触媒そして環境	11月上旬	1.5 時間	
		次元解析ー単位だけでここまで分かるー	20年1月下旬	1.5 時間	
応用生物科学部	応用生物科学部「高校生のための体験実験講座」		8月4日(土),5日(日)	12 時間	高校生, 指導教員
総合情報メディアセンター (生涯学習システム開発研究部門)	生涯学習とまちづくり ーまちづくりに向けた学習プログラムの作成ー		12月9日(日)	7 時間	生涯学習・社会教育関係職員, ボランティア指導者
生命科学総合研究支援センター	よくわかる生命科学 ー研究の成果がどのように生かされているかー		9月30日(日)	4 時間	大学院生及びこの分野 に興味を持つ一般市民

● 平成 19 年度出前講義の開講科目

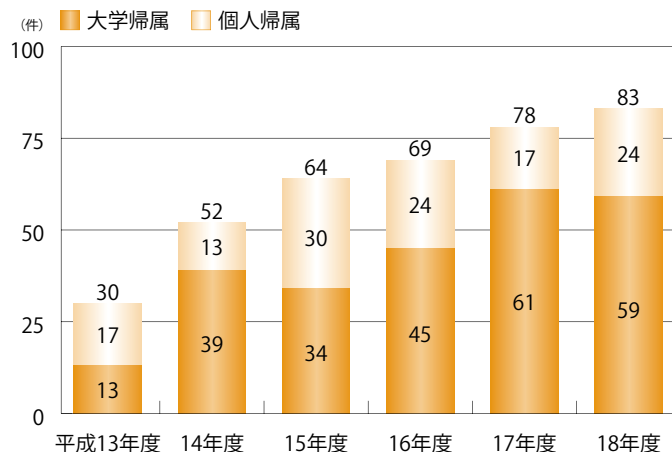
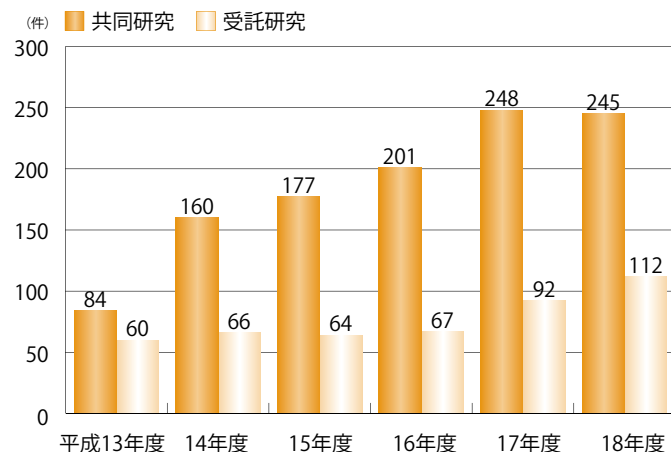
実施部局	部局別開講科目数	分野別開講科目数	
教育学部	31	人文学	18
地域科学部	11	社会科学	19
医学部	6	理 学	23
工学部	82	応用科学(工学,生物科学)	114
応用生物科学部	51	医学・福祉	8
共同教育研究支援施設(各センター)	7	総 合	6
計	188		

産官学融合本部

産官学連携

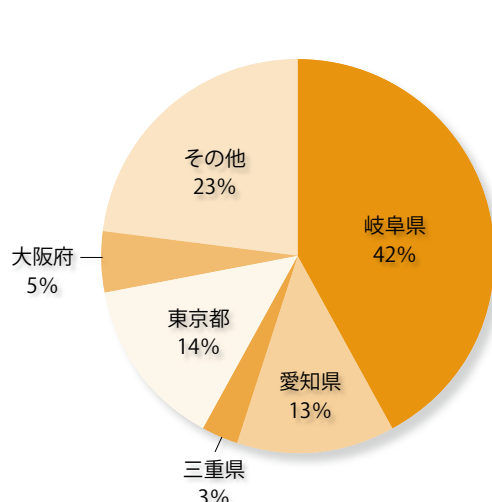


共同研究・受託研究および発明届の件数の推移

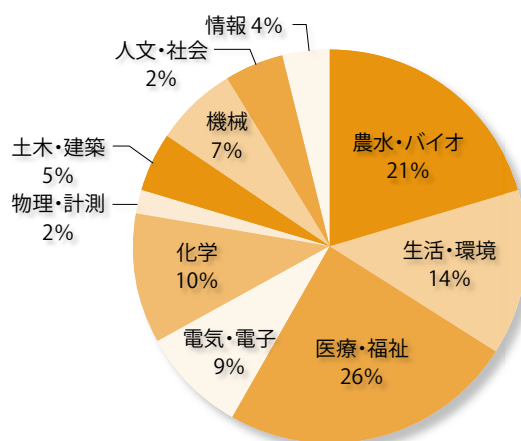


共同研究実績

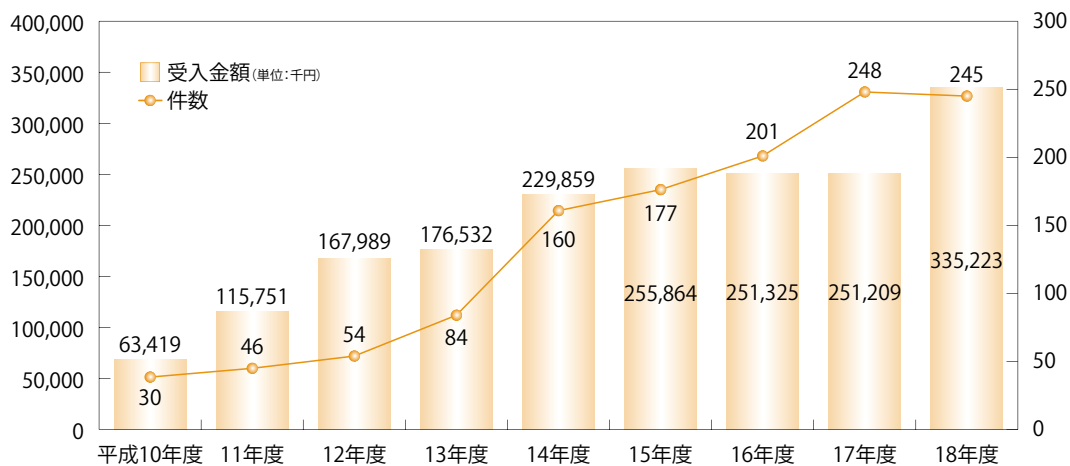
相手先機関所在地(平成18年度)



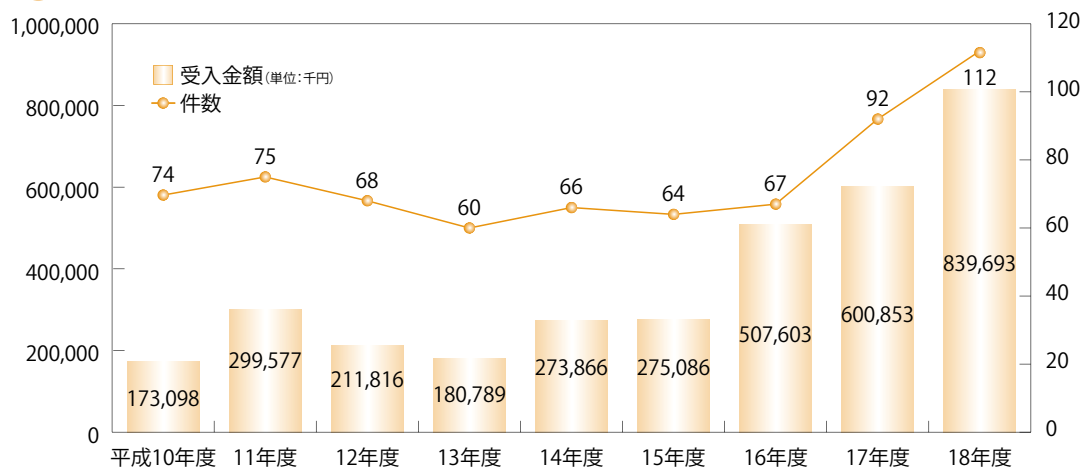
実施分野(平成18年度)



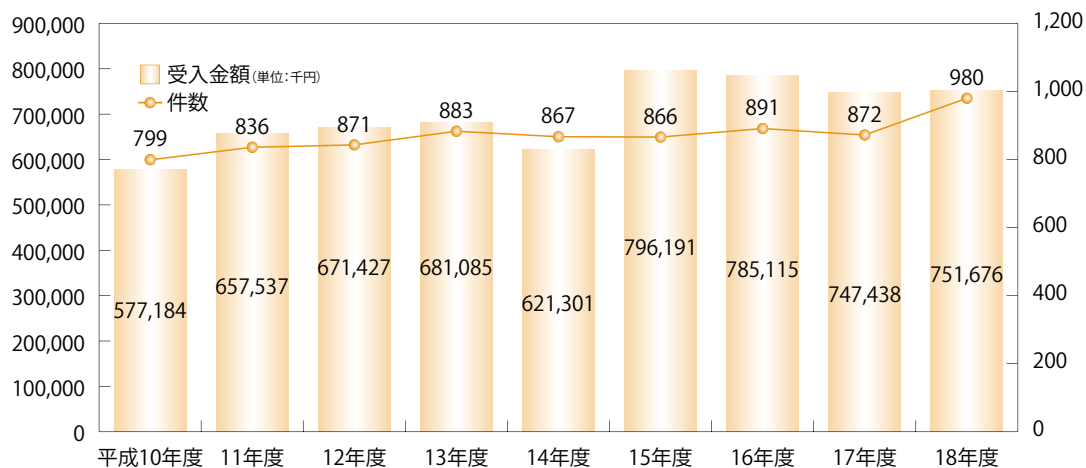
民間等との共同研究



受託研究



奨学寄附金



● 学術交流協定締結大学一覧

大学間協定 (13 カ国 32 大学)

(平成 19 年 7 月 1 日現在)

大 学 名	国 名	協定締結日
カンピーナス大学	ブラジル	1984. 8. 27
サンディエゴ州立大学	米 国	1985. 5. 7
浙江大学	中 国	1986. 4. 21
広西大学	中 国	1986. 4. 24
電子科技大学	中 国	1986. 7. 21
江南大学	中 国	1986. 9. 3
中国医科大学	中 国	1987. 8. 15
ルンド大学	スウェーデン	1987. 9. 12
ノーザンケンタッキー大学	米 国	1990. 9. 26
ソウル産業大学	韓 国	1992. 3. 19
グリフィス大学	オーストラリア	1995. 3. 3
ユタ大学	米 国	1997. 5. 28
ユタ州立大学	米 国	1997. 5. 29
ハノイ工科大学	ベトナム	1998. 6. 26
ウェストバージニア大学	米 国	1998. 12. 16
カセサート大学	タ イ	1999. 8. 5
アバティダンディ大学	英 国	2000. 6. 28
内蒙古農業大学	中 国	2000. 8. 8
シドニー工科大学	オーストラリア	2000. 8. 14
パンノン大学	ハンガリー	2001. 3. 2
アンダラス大学	インドネシア	2001. 4. 23
バングラデシュ農業大学	バングラデシュ	2001. 8. 23
エルフルト大学	ド イ ツ	2002. 12. 4
吉林大学	中 国	2003. 5. 20
チャンマイ大学	タ イ	2003. 8. 4
ダッカ大学	バングラデシュ	2004. 6. 17
モンクット王トンプリ工科大学	タ イ	2005. 1. 10
華僑大学	中 国	2005. 3. 29
同済大学	中 国	2006. 3. 16
ランボン大学	インドネシア	2006. 4. 25
ポートランド州立大学	米 国	2006. 6. 19
内蒙古大学	中 国	2007. 2. 6

部局間協定 (5 カ国 8 機関)

大 学 名	国 名	協定締結日	協定部局
チュラロンコン大学理学部	タ イ	1994. 3. 15	応用生物科学部
慶北大学校農科大学	韓 国	1998. 12. 21	応用生物科学部
コンケン大学農学部	タ イ	2000. 3. 27	応用生物科学部
コンケン大学学部間共同開発研究所	タ イ	2000. 3. 27	応用生物科学部
浙江大学医学院	中 国	2000. 12. 4	医 学 部
コンケン大学医学部	タ イ	2000. 12. 18	医 学 部
全南大学校工科大学	韓 国	2002. 2. 6	工 学 部
韓国農村振興省国立農業科学・技術院	韓 国	2003. 3. 17	応用生物科学部
シドニー大学文学部	オーストラリア	2004. 3. 2	教 育 学 部
ベンハー大学獣医学部	エジプト	2004. 5. 5	連合獣医学研究科

● 平成 18 年度外国人研究者受入数及び来訪者数

外国人研究者	33 人
外国人来訪者	105 人

● 平成 18 年度海外渡航者数

出 張	543 人
研 修	61 人

● 交換留学

(人)

国 名	大 学 名	派遣年度			受入年度		
		16	17	18	16	17	18
バングラディシュ	ダッカ大学					1	1
中 国	広西大学				1	1	2
	吉林大学				3	1	2
	電子科技大学					1	2
	同済大学			1			
韓 国	ソウル産業大学		1	1	3	3	3
タ イ	カセサート大学					1	1
	チェンマイ大学				1	1	1
	チュランコン大学※		1				
	モンクット王トンプリ工科大学						1
オーストラリア	グリフィス大学	3			1	1	
	シドニー工科大学	1	3	1	2	2	2
ド イ ツ	エルフルト大学	2					1
ハンガリー	パンノン大学(ヴェスプレーム大学から大学名変更, H18.4)				1		
スウェーデン	ルンド大学			1	2	2	2
英 国	アバティダンディ大学				2	2	2
米 国	サンディエゴ州立大学		1	1	1	2	
	ノーザンケンタッキー大学		1	2		1	
	ユタ州立大学		2				
	ウエストバージニア大学		1				
ブラジル	カンピーナス大学		1		1	1	1
計		6	11	7	18	20	21

※部局間協定大学

● 夏期短期留学(サマースクール)

(人)

国 名	大 学 名	派遣年度			受入年度		
		16	17	18	16	17	18
韓 国	ソウル産業大学				5	5	5
オーストラリア	グリフィス大学	16	11	10			
スウェーデン	ルンド大学				18	23	13
米 国	ポートランド州立大学			14			
計		16	11	24	23	28	18

● 国際交流会館

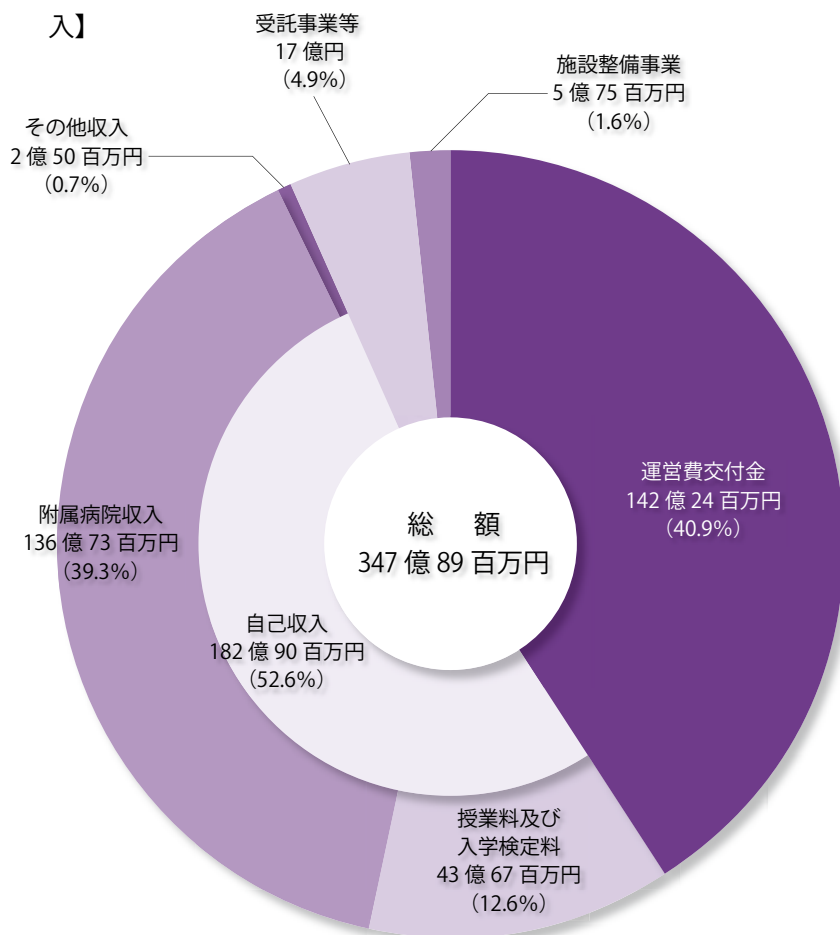
施 設 名	施設の概要		
	宿 泊 室		そ の 他
国際交流会館 (岐阜市柳戸1番1)	A 棟	単 身 室 31	会議室・研修室, 談話室
		夫 婦 室 2	
		家 族 室 3	
	B 棟	単 身 室 38	多目的ホール, 和室
		夫 婦 室 12	
		家 族 室 4	



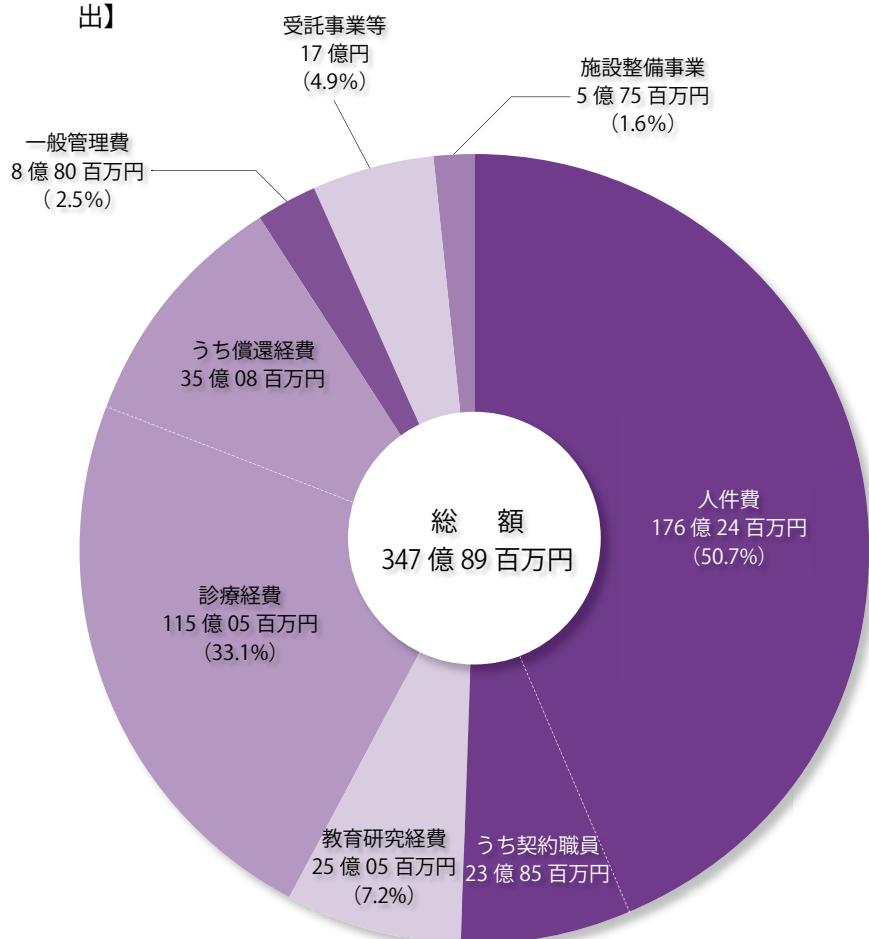
国際交流会館 A 棟

● 平成 19 年度岐阜大学の予算

【収 入】



【支 出】



●平成 18 年度科学研究費補助金採択実績

研究種目	採 択 件 数	直 接 経 費 （千円）	間 接 経 費 （千円）	部局別採択件数																
				教育学部	地域科学部	医学部	大学院医学系研究科	医学部附属病院	工学部	大学院工学研究科	応用生物科学部	大学院連合農学研究科	大学院連合獣医学研究科	流域圏科学研究センター	産官学融合センター	生命科学総合研究支援センター	総合情報メディアセンター	留学生センター	保健管理センター	人獣感染防御研究センター
特定領域研究	17	88,500		2			7		3		1					1	1			2
基盤研究(S)	1	15,200	4,560								1									
基盤研究(A)	1	9,800	2,940								1									
基盤研究(B)	47	194,200	26,790	2	1		13		14	1	10			3			3			
基盤研究(C)	107	137,568		17	4	6	21	8	23	5	14		1			3	2	1	1	1
萌芽研究	19	34,100		3		1	3	3	3		5						1			
若手研究(A)	1	1,950	450						1											
若手研究(B)	65	90,700		3	2	3	15	10	15	1	8			4		1	1			2
若手研究(スタートアップ)	2	2,640							1											1
特別研究員奨励費	24	24,500					2		8	1	2	4	4	3						
合 計	284	599,158	34,740	27	7	10	61	21	68	8	42	4	5	10	0	5	8	1	1	6

●共同研究・受託研究(平成 18 年度実績)

(単位: 千円)

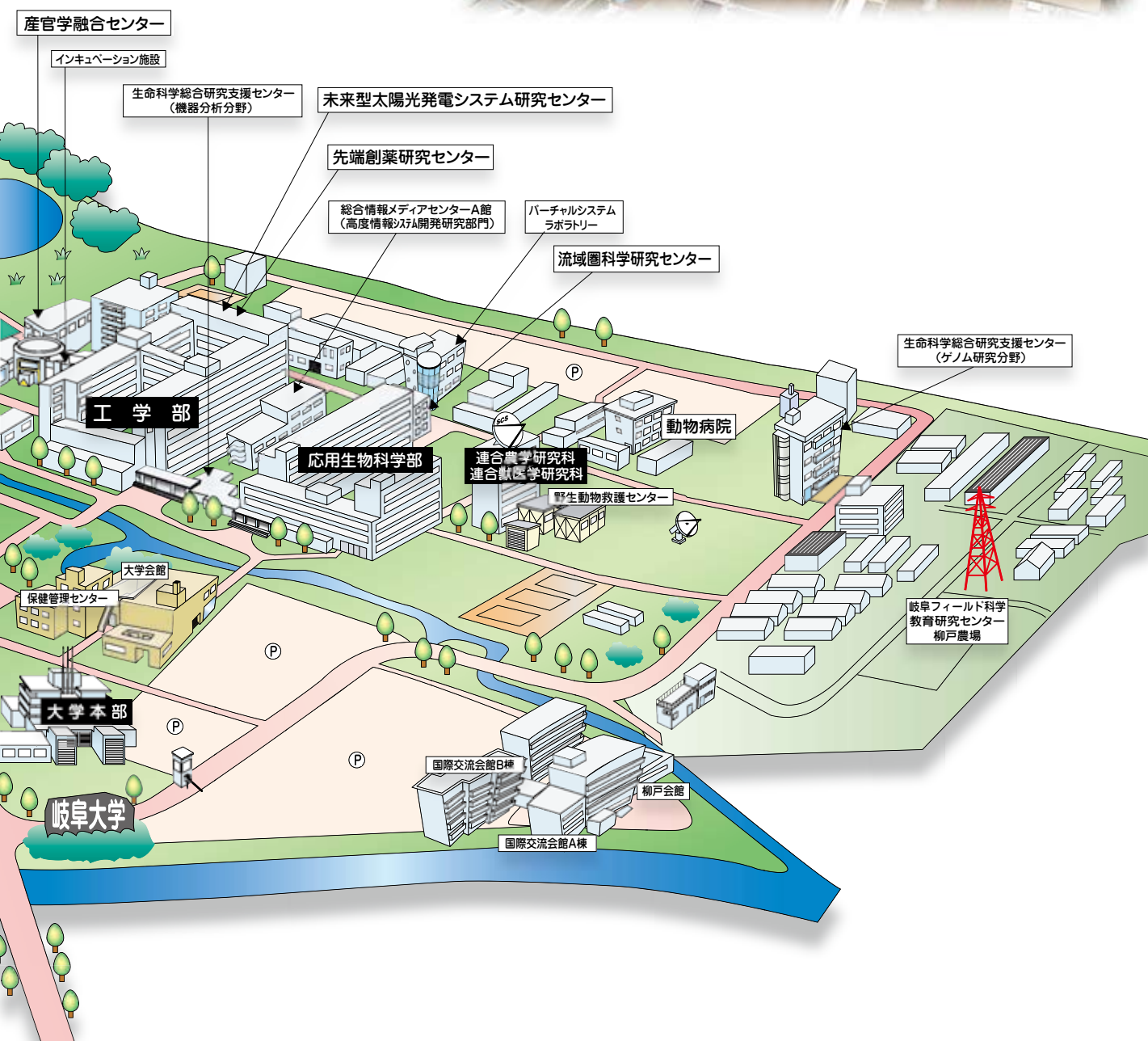
部 局	共同研究		受託研究	
	受入件数	受入金額	受入件数	受入金額
教育学部	6	2,346	2	2,200
地域科学部	2	2,399	1	300
大学院医学系研究科・医学部	43	115,079	15	175,770
医学部附属病院	7	2,220	7	24,577
工学部	118	122,832	33	426,631
応用生物科学部	53	46,716	35	84,901
流域圏科学研究センター	7	7,500	8	21,879
産官学融合センター	0	0	0	0
生命科学総合研究支援センター	5	32,500	7	16,639
保健管理センター	1	1,000	1	4,861
総合情報メディアセンター	2	2,526	1	1,805
人獣感染防御研究センター	1	105	2	80,130
合 計	245	335,223	112	839,693

●奨学寄附金(平成 18 年度実績)

(単位: 千円)

部 局 等	奨学寄附金	
	受入件数	受入金額
大学本部(国際交流含む)	25	10,732
教育学部	18	9,610
教育学部附属学校	2	10,500
地域科学部	7	3,800
大学院医学系研究科・医学部	411	378,717
医学部附属病院	166	113,535
工学部	138	93,001
応用生物科学部	163	92,401
流域圏科学研究センター	11	7,800
生命科学総合研究支援センター	35	29,800
総合情報メディアセンター	2	1,400
保健管理センター	2	380
合 計	980	751,676

注) 千円未満は切り捨てとし、医学部には寄附講座 50,000 千円を含む。



地 区	区 分	土 地	建 物
		数量の整数	延面積の整数
柳 戸 地 区	本 部 棟	520,826	4,000
	教 育 学 部		18,726
	地域科学部		3,640
	地域科学部・共通教育講義等		13,433
	医学部(看護学科)		7,197
	工 学 部		47,972
	応用生物科学部		27,524
	大学院連合農学研究科・連合獣医学研究科		2,301
	動 物 病 院		2,011
	図 書 館		7,192
	産官学融合センター		3,903
	流域圏科学研究センター		1,112
	生命科学総合研究支援センター		2,843
	総合情報メディアセンター		2,311
	留学生センター		336
	国際交流会館		3,387
	大学会館, 第二食堂, 柳戸会館		6,465
	体育・課外活動施設		6,301
	黒 野 寮		5,045
	排水処理施設, 中央機械室, 中継ポンプ室, 特高受変電室外		1,847
	医学部・同附属病院	124,337	111,519
	柳戸地区合計	645,163	279,065

長 良 地 区	教育学部附属小・中学校(圃場)	1,821	
	学外合宿研修施設	3,263	1,304
	教育学部(地震観測所)	(148)	10
司 町 地 区	旧医学部・同附属病院跡地	30,860	
	司町 5 番地	239	
加 納 地 区	教育学部附属小・中学校	30,608	13,311
美濃加茂地区	応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター	(19)	
	美濃加茂農場	95,832	1,602
川辺町地区	課外活動施設(艇庫)	(540)	196
萩原町地区	応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター	(2,460)	
	位山演習林	5,538,803	1,103
高 山 地 区	流域圏科学研究センター高山試験地	(159,266)	750
そ の 他	職 員 宿 舎	18,442	8,813

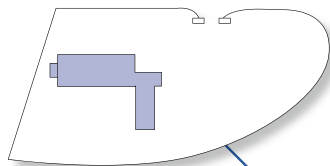
合 計	() 内の数は借用地で, 外数である	6,365,031	306,154
		(162,433)	

学外合宿研修施設(岐阜市長良竜東町)

大学から5km 車で15分



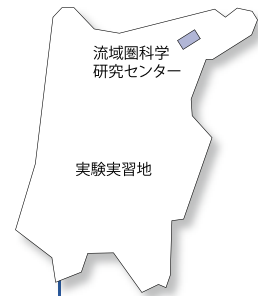
学外合宿研修施設



流域圏科学研究センター
高山試験地(高山市岩井町)



高山試験地



流域圏科学研究センター

実験実習地

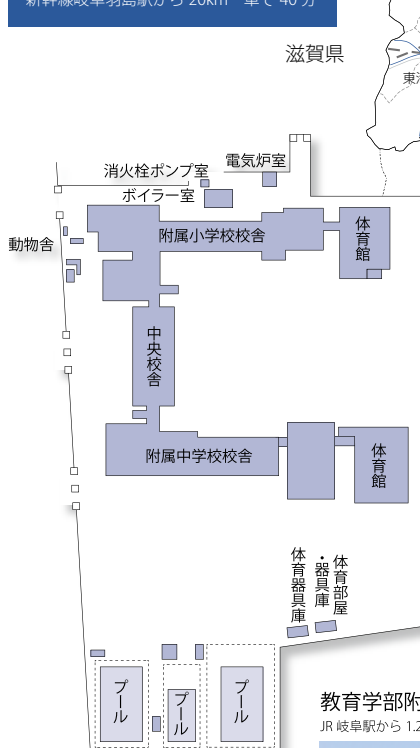
富山県

長野県

福井県

岐阜大学
(岐阜市柳戸1番1)

JR岐阜駅から7km 車で20分
新幹線岐阜羽島駅から20km 車で40分



滋賀県

愛知県

三重県

教育学部附属学校(岐阜市加納大手町)

JR岐阜駅から1.2km



教育学部附属小学校



教育学部附属中学校

応用生物科学部附属岐阜フィールド
科学教育研究センター美濃加茂農場(美濃加茂市牧野)

JR古井駅から6km



美濃加茂農場



実験実習地

管理棟

応用生物科学部附属岐阜フィールド
科学教育研究センター位山試験林
(下呂市萩原町)

JR上呂駅から10km



常緑林建物遠景

部局・施設等		郵便番号	住 所	電 話 番 号	F A X 番号	
柳 戸 地 区	大 学 本 部	501-1193	岐阜市柳戸 1 番 1	〈058〉230-1111 (代表)	〈058〉293-2021	
	教育学部 / 教育学研究科			293-2203	〈058〉293-2207	
	・附属特別支援教育センター			293-2350	293-2355	
	地域科学部 / 地域科学研究科			293-3002	293-3008	
	工学部 / 工学研究科			293-2365	293-2376	
	応用生物科学部 / 農学研究科			293-2835	293-2840	
	・附属岐阜フィールド科学教育研究センター			293-2972	293-2977	
	・附属動物病院			293-2962	293-2964	
	連合農学研究科			293-2984	293-2992	
	連合獣医学研究科			293-2987	293-2992	
	連合創薬医療情報研究科			293-2496		
	図 書 館			293-2184	293-2194	
	教養教育推進センター			293-2178	293-3020	
	流域圏科学研究センター			293-2061	293-2062	
	産官学融合センター			293-2025	293-2022	
	生命科学総合研究支援センター			293-3171	293-3172	
	総合情報メディアセンター			293-2041	293-2044	
	留学生センター			293-2142	293-2143	
	保健管理センター			293-2174	293-2177	
	先端創薬研究センター			293-3345	293-3345	
	金型創成技術研究センター	293-2496				
	未来型太陽光発電システム研究センター	293-2496				
	医学部 / 医学系研究科	501-1194			〈058〉230-6000 (代表)	〈058〉230-6060
	医学部附属病院				230-6008	230-6020
医学教育開発研究センター	230-6470		230-6468			
人獣感染防御研究センター	230-6145		230-6144			
加 納	教育学部附属小学校	500-8482	岐阜市加納大手町 74	〈058〉271-3545	〈058〉271-1816	
	教育学部附属中学校	〃	〃	271-3507	272-3665	
美濃	応用生物科学部附属 岐阜フィールド科学教育研究センター 美濃加茂農場	505-0016	美濃加茂市牧野 1918 の 1	〈0574〉 25-2807	〈0574〉 25-2807	
萩原	同センター 位山試験林	509-2501	郡上市萩原町山之口	〈0576〉 54-1611	〈0576〉 54-1477	
高山	流域圏科学研究センター 高山試験地	506-0815	高山市岩井町 919-47	〈0577〉 31-1005	〈0577〉 31-1016	

● 岐阜大学へのアクセス

バス・タクシー

【JR 岐阜駅 / 名鉄岐阜駅から】

- ・岐阜大学まで約 7 km, バスで約 30 分, タクシーで約 20 分

鉄道

【JR 名古屋駅 / 名鉄名古屋駅 / 近鉄名古屋駅から】

- ・JR 岐阜駅まで, 東海道本線(新快速)で約 18 分
- ・名鉄岐阜駅まで, 名鉄名古屋本線(特急)で約 25 分

【岐阜羽島駅(新幹線)から】

- ・名鉄岐阜駅まで, 名鉄羽島線(急行)で約 24 分

【中部国際空港から】

- ・名鉄岐阜駅まで, 名鉄(快速特急)で約 55 分

自家用車

【名神高速】

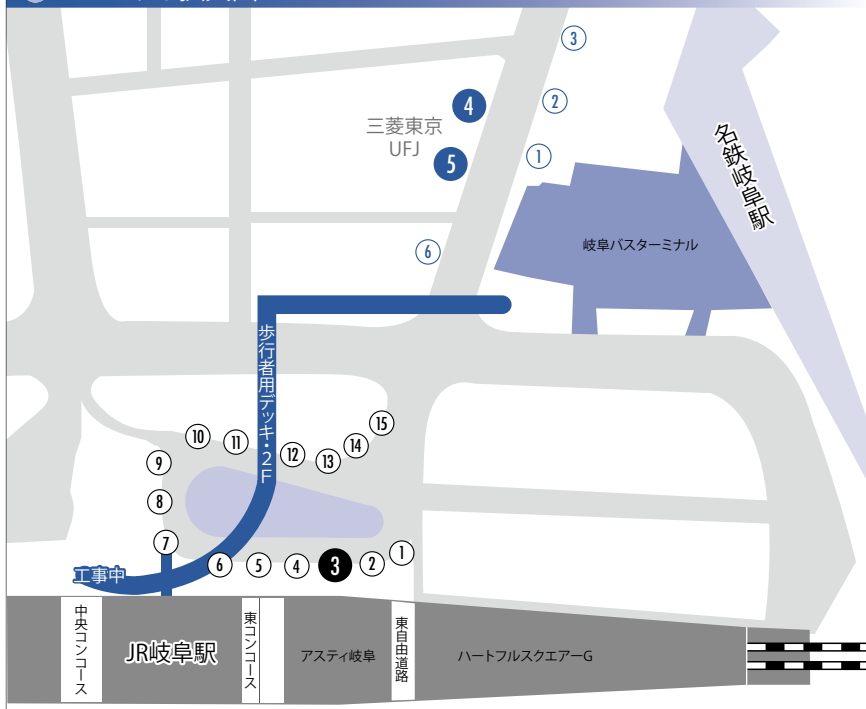
- ・岐阜羽島 IC から岐阜環状線経由で, 約 40 分(約 20 k m)
- ・一宮 IC から国道 22 号を北進し, 岐阜市街経由で, 約 50 分(約 25 k m)

【東海北陸自動車道】

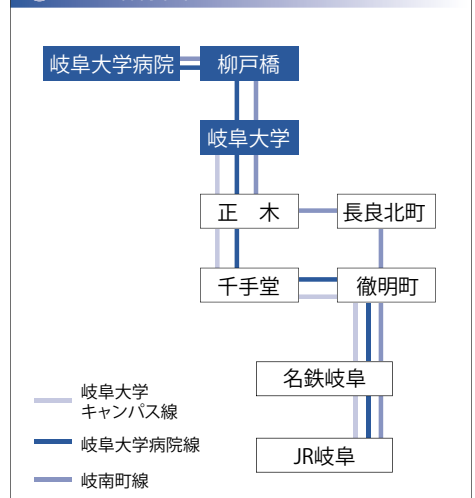
- ・岐阜各務原 IC から国道 21 号を西進し, 岐阜環状線経由で 40 分(約 20 km)



● バスのりば拡大図 (JR岐阜駅・名鉄岐阜駅)



● バス路線図



行き先	路線名	経 由	乗り場
岐 阜 大 学	岐 阜 大 学 キャンパス線	忠 節 橋	3 5
岐 阜 大 学 岐阜大学病院	岐阜大学病院線	忠 節 橋	3 5
	岐 南 町 線	長良橋	3 4



岐阜大学概要 2007

【編集】岐阜大学総務部総務課
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1
Tel.058-230-1111(代表) 058-293-2009
Fax.058-293-2021

<http://www.gifu-u.ac.jp/>

